

統計茨城

1961-4

目次

季節	1
インサスの示した本県の農林業	2
県政改革後の本県統計課	18
農村の家計収支	22

◁統計は静止せる歴史であり、歴史は進行せる統計である▷



櫻 の 季 節

氷と、肌を裂くような寒風が猛威を振つた灰色の冬は、春を呼ぶ沈丁花のやわらかな香りにしずまつて、地上はようやくに、春の衣に散われ始めた。

春風のトップに立つて、桜は一斉に開花し、寒気のパンチに打ち砕かれた人間の心に、蘇生の新風を吹き込んだ。人々は今や桜花と共にあり、桜花の開くところ、野に山に、そして陽炎燃ゆる天地に双手を挙げ、大気を胸一杯吸つて大自然の懐深く飛び込んでゆく。

統計の示す旅行者数は、4月、7月、10月と3つのピークを示し、灰色の1月は大きな谷となつて最低を示している。

日本交通公社水戸案内所調 周遊券の月別利用人員

1月	540人	7月	2,650人
2	980	8	2,570
3	1,300	9	1,900
4	1,860	10	3,550
5	1,450	11	1,940
6	1,160	12	850



センサスの示した本県の農林業

県統計課 一本杉 清

はじめに

昨年行われた世界農林業センサスも、別にセンサス調査票からの果樹集計も、またセンサスを補助し、かつ精査確認のための事後調査も、矢継ぎ早の調査に、主管の農林統計係は、Pre-surveyである照査表の作成からは連続の業務で、正にセンサスラッシュであった。このたびいよいよ市町村別の統計表が、県の概要として公表されるまでになったが、この結果概要には、統計数値と、調査用語の説明ならびに利用上の注意が編集され、調査結果についての説明は省かれている。これは現今の統計書利用者は、主として統計表（数値）を利用し、利用者が自己の必要とするデータについて自己で結果を出し、編集者の解説を必要としないからである。

しかしながら、統計書が、統計表利用者にとのみ限定されて使用されていることは統計書本来の目的ではなく、むしろ統計調査の結果が、何を示しているかを解析し、これを広く一般にも広報し認識せしめることは、調査結果の活用度を高める上からも必要なことである。

このような観点からここに寄稿するゆえんである。なお、この稿を書くにあたって、各種の統計書を示され、また解析の利便を図られた川上前農林統計係長に深甚の謝意を表するものである。

農家人口について

産業を三つの分野に区分し、農業とか林業・水産業のような原始産業を第一次産業といい、鉱工業などを第二次産業、銀行や映画館のようなサービス業を第三次産業として分類し、総人口中に占める第一次産業の割合が少ない程進化した社会構成であるとする見方がある。即ち人口のウェイトが第二次・第三次産業に移行している程文化社会であるとする見方である。

このような考え方からすれば、本県は第一次産業中、特に農業は農林水産業中に占めるウェイトが、34年本県で纏めた農林水産業生産指数によれば95.4であり、総人口に対する農業人口の割合を見れば概ね第一次産業と同様である。

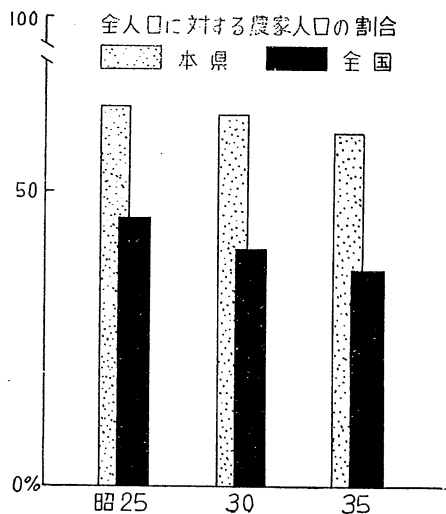
この点から第1表を作成してみた、特に25、30、35年は、全国比較し得るよう数字を入れたが、この3カ年を基準として全国平均と本県との傾向比較を計算すると、全国では、農家人口の総人口に対する割合は、35年にお

第1表 農家人口の推移

昭和	A 本県総人口	B 農家人口	C B/A	1戸当り農家人口
20	1,994,573	1,183,100	60.8	6.2
21	1,940,833	1,201,119	61.9	6.2
22	2,013,735	1,250,835	62.1	6.3
23	2,044,578	1,303,539	63.8	6.2
24	2,060,061	1,356,242	65.8	6.1
25	2,039,418	1,321,820	64.8	6.3
26	2,039,080	1,327,580	65.1	6.3
27	2,053,575	1,313,572	64.0	6.2
28	2,057,322	1,314,500	63.9	6.3
29	2,066,477	1,312,529	63.5	6.2
30	2,064,037	1,315,364	63.7	6.2
31	2,080,586	1,303,309	63.1	6.1
32	2,081,246	1,283,952	61.7	6.1
33	2,082,067	1,273,443	61.1	6.0
34	2,079,906	1,252,594	60.2	5.9
35	2,046,969	1,232,935	60.2	5.9
25	(83,199,637)	(37,811,000)	45.4	—
30	(89,275,529)	(36,468,990)	40.7	—
35	(93,406,830)	(34,470,000)	36.9	—

注1 25・30・35年の括弧内数字は全国における数字である。

注2 農家人口について20年補外、23年補間にて充当し26年は農林省統計書、25・35年はセンサスの数字である。



いて36.9%であつて毎年0.85%づつ減少している。これに対し本県の比率は35年において60.2%を示し、毎年0.46%の減少を示している。

即ち進化速度が全国平均に対し、本県は半分であり、現在の全国平均に達するにはあと50年はかかる計算である。

これは、本県の地勢などの特殊性もあるが、百万都市構想とか、工業化促進とか或は港湾の整備など様々のプランが叫ばれているが、既に進化速度が全国平均の半分である現在、その産業構造からみて、未開発分野が数多く残され、これらに対する第二次、第三次産業への大転換期にあることを示すものである。

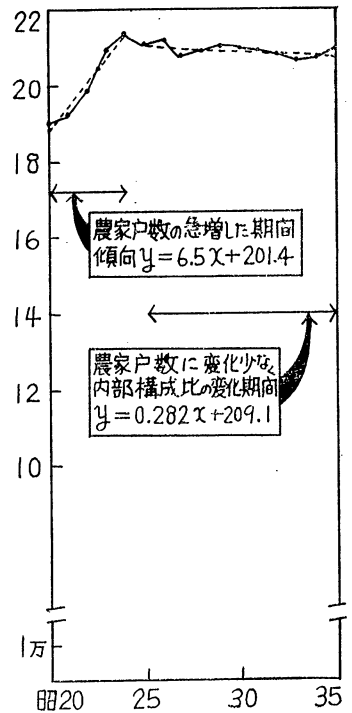
農家戸数について

本県における農家戸数の昭和20年以降の変化については、二つの期間にはつきり区分することができる。

その第1は、昭和20年から昭和24年に至る5カ年間の農家戸数激増の期間であり、第2は、昭和25年から現在に至る高原状変遷の期間についてである。大戦直後我が国は、食糧の供給面が極めて弱体化したこと、および海外よりの人口流入増加による需要増大のために食糧難を惹き起こし、第1次産業中特に農業生産物の獲得に狂奔した。このため農家戸数は、年平均6,500戸の割で激増し昭和20年190,316戸であつたものから、昭和24年には213,917、

第2表 農家戸数の変遷

昭和	農家戸数
20	190,316
21	193,122
22	199,702
23	209,723
24	213,917
25	211,440
26	212,012
27	208,413
28	209,295
29	210,180
30	209,127
31	208,744
32	207,945
33	207,436
34	207,000
35	209,733



第3表 経営耕地広狭別農家数とその構成比

経営耕地 区分 単位ヘクタール	昭 25		27		31		35	
	戸 数	構成比	戸 数	構成比	戸 数	構成比	戸 数	構成比
総 数	211,440	100.0	208,413	100.0	208,744	100.0	209,733	100.0
例 外 規 定	118	—	—	—	—	—	265	—
0.099~0.298 (0.1~0.3町)	24,445	11.5	27,754	13.3	26,302	12.6	26,367	12.6
0.298~0.496 (0.3~0.5)	26,016	12.3	27,857	13.4	26,559	12.7	25,740	12.2
0.496~0.992 (0.5~1.0)	59,210	28.0	64,068	30.8	62,776	30.1	60,105	28.7
0.992~1.488 (1.0~1.5)	50,685	24.0	50,809	24.4	53,142	25.4	53,551	25.6
1.488~1.983 (1.5~2.0)	31,300	14.8	26,282	12.6	28,096	13.5	30,419	14.5
1.983~2.975 (2.0~3.0)	17,627	8.3	10,935	5.2	11,190	5.4	12,515	6.0
2.975~∞ (3.0~∞)	2,039	1.1	708	0.3	679	0.3	771	0.4

917戸に急増した。農業面に対する諸政策と、農業関係機関および農業従事者の努力によつて逐次農業生産が強化され、食糧の需要ならびに供給が均衡を維持するようになった昭和25年には、主食確保措置の緩和策が採られ、

雑穀類が主要食糧より削除されるまでに回復した。ここに至つて農家数の急激な増勢が停止し、爾後今日まで概ね高原状の状態を維持している。この状態をもう少し詳しくみると、209,000戸の線を年平均280戸の僅かな減少を

示しつつ昭和25年の211,440戸から昭和35年の209,733戸へと変化して来ている。この期間は、農家戸数には変化が殆どないが、その経営耕地広狭別の構成比をみると、注目すべき変化が行なわれている。即ち第3表に示したごとく昭和27年以降の構成比変化をみると、経営耕地面積0.992ヘクタール（1町歩）未満の小規模経営農家がいずれも減少を示し、それ以上の農家が増加を続けている。これは現在の農業が土地中心であり、耕地の少ない農家経営は、その弱体を敷い切れず0.992ヘクタール以上のスタンダードな農業にウエイトが傾いていることを示すものである。このことは特に0.992ヘクタール未満の小規模経営の農業について、耕地以外のより効果的農業経営に改善すべし要素を含んでいるものとみるべきであろう。

経営耕地の田・畑・樹園地構成比の変化について

経営耕地は、感覚的には宅地などに転化され年々減少するのではなかろうかと思われたが、調査上にあられ

た統計値からの推移では、過去11年間を通して、年平均548ヘクタール（552町歩）の増加を示し、昭和25年の経営耕地面積200,616ヘクタール（202,287町歩）から、35年には207,277ヘクタール（209,003町歩）に増加している。

しかし、これを田・畑・樹園地に分けてその構成比をみると、昭和25年における全経営耕地を100としたときの田は44.9%、畑は50.4%、樹園地は4.7%となつているが、田は年々0.0418%づつ減少し、樹園地は同様に0.0727%づつ減少を示し、ただ畑のみが0.1145%の増加をみせ、耕地全体としては、前記のような上昇を示している。

これは年々荒廃地への用排水路設定などによる耕地化平地山林の畑地への転換とか、或いは土木技術などの進歩による従来耕地とし得なかつた地点への開墾が進み、これらが直接統計値へ反映しているものと思われる。25年から35年への変化が今後も同様に続くものとすれば、40年には経営耕地207,400ヘクタールと推計される。

第4表 経営耕地の田・畑・樹園地構成比の変化

昭和	経営耕地		田		畑		樹園地	
	ヘクタール	構成比	ヘクタール	構成比	ヘクタール	構成比	ヘクタール	構成比
25	200,616	100.0	90,097	44.8	101,197	50.4	9,322	4.7
26	200,041	100.0	89,611	44.8	101,182	50.6	9,248	4.6
27	199,465	100.0	89,125	44.7	101,164	50.7	9,173	4.6
28	199,798	100.0	89,138	44.6	101,944	51.0	8,716	4.4
29	200,642	100.0	89,402	44.6	102,222	50.9	9,018	4.5
30	202,528	100.0	90,060	44.5	103,559	51.1	8,909	4.4
31	202,715	100.0	90,439	44.6	103,345	51.0	8,931	4.4
32	202,875	100.0	90,570	44.6	103,415	51.0	8,891	4.4
33	203,177	100.0	90,677	44.6	103,603	51.0	8,897	4.4
34	201,910	100.0	90,060	44.6	103,924	51.5	7,925	3.9
35	207,277	100.0	91,543	44.2	107,885	52.0	7,849	3.8

注1 25年および35年の数字は、いずれもセンサスのものである。

2 26年から34年までは、農業基本調査によるものである。

3 構成比は田・畑・樹園地面積の全耕地面積に対する割合を示すものである。

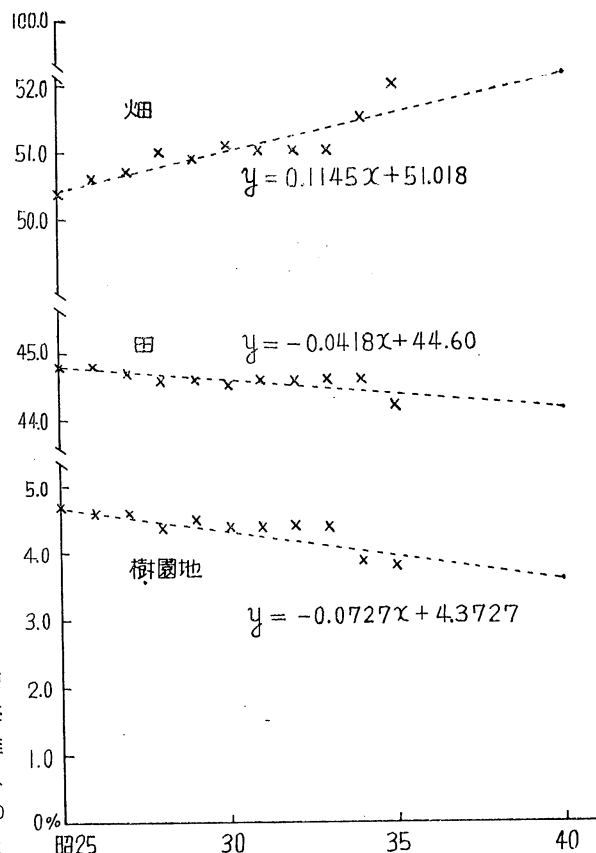
専業兼業農家の変遷

昭和25年と昭和35年の専業兼業別比較をみると、まず総農家数においては、経営耕地面積2.975ヘクタール（3町歩）以上で、昭和25年910戸が昭和35年771戸となり、15.3%の減少を示している。

しかしこの階層は、他の階層に比して農家客体が寡少であるが、0.992ヘクタール（1町歩）未満の農家数は、両年を比較すると、9,679戸減となり、比率にして7.9%の減少を示している。これに対して0.992ヘクタール（1町歩）から2.975ヘクタール（3町歩）までの農家数は、逆に8,964戸9%の増加を示している。

この階層は、昭和35年の総農家209,733戸のうち96,485戸であり、構成比は46.0%を占めている。いわゆる0.992ヘクタール未満の小規模経営農家および2.975ヘクタール以上の大規模経営農家が減少し、標準経営の農業として0.992ヘクタール以上2.975ヘクタール未満が増加している。この農家をさらに専業兼業別の農家構成比の変化についてみると、専業農家は昭和25年には、145,083戸で当時の総農家に対する専業率は、68.6%を示していたが、昭和35年には54.0%となつて14.6%専業農家が減少している。これは逆に兼業農家の増加となつてあらわれ、昭和25年の兼業率31.4%を14.6%上回つて46.0%をマークしている。

専業率と兼業率とは表裏の関係を示すが、兼業率即ち総農家に対する兼業農家数の比率について、経営耕地面積広狭別にその変化をみると、4.95ヘクタール(5町歩)以上は、兼業農家が昭和25年の8戸から昭和35年の7戸と減少しているが、その他は何れも増加を示し、低階層農家ほど兼業率が多い、特に0.099ha~0.298ha(1反~3反)階層での兼業率は、82.8%の高率を示し、過去11年間における兼業農家の平均増加率は、0.992ha(1町歩)未満では毎年2.1%ずつ増加し、それ以上の階層では毎年0.9%ずつ増加して来た計算で、全体として農家経済が兼業収入によつて維持される方向に傾いている。これは、第1に農業のみの単独収入(農産物販売金額は35年県計で29,138,390,079円、1農家当り139,400円…自家消費を除く)によつては維持し切れないと考えられること。



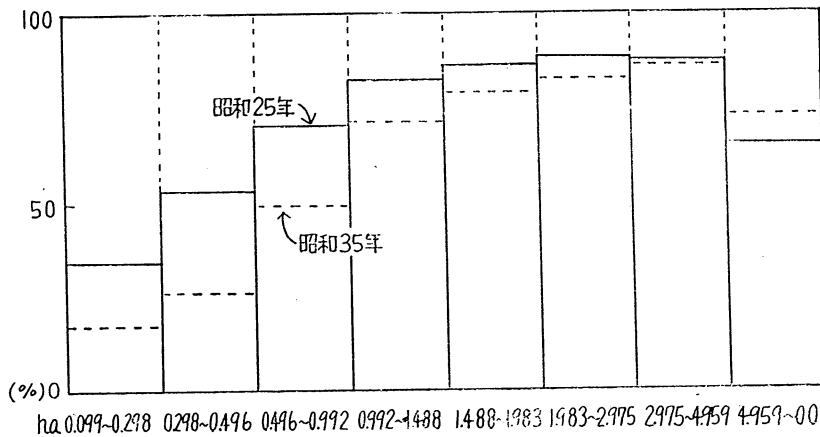
註. x印は統計値の構成比 所在位置を示す

第5表 A 専業・兼業農家の変遷

種数	経営耕地区分 単位ha(町)	0.099~	0.298~	0.496~	0.992~	1,488~	1,983~	2,975~	4,959~	例外規定	計
		0.298 (0.1~ 0.3)	0.496 (0.3~ 0.5)	0.992 (0.5~ 1.0)	1,488 (1.0~ 1.5)	1,983 (1.5~ 2.0)	2,975 (2.0~ 3.0)	4,959 (3.0~ 5.0)	∞ (5.0~ ∞)		
総農家	昭25	30,741	27,897	63,253	49,829	26,512	12,180	88.7	23	118	211,440
	増減率%	-14.2	-7.7	-5.0	+7.5	+14.7	+2.8	-15.9	+8.7	+124.6	-0.8
専業	昭35	26,367	25,740	60,105	53,551	30,419	12,515	746	25	265	209,733
	増減率%	-56.7	-55.1	-33.9	-7.5	+4.4	-4.5	-18.4	+20.0	+131.0	-21.9
兼業	昭25	4,528	6,700	29,245	37,845	23,939	10,290	633	18	67	113,265
	増減率%	34.0	53.4	70.0	82.1	86.5	88.4	87.5	65.2	24.4	68.6
兼業	昭35	17.2	26.0	48.7	70.7	78.7	82.2	84.9	72.0	25.3	54.0
	増減率%	+7.7	+46.6	+62.6	+77.3	+80.5	+58.2	+1.8	-12.5	+122.5	+45.4
兼業	昭25	21,839	19,040	30,860	15,706	6,480	2,225	113	7	198	96,468
	増減率%	66.0	46.6	30.0	17.9	13.5	11.6	12.5	34.8	75.6	31.4
兼業	昭35	82.8	74.0	51.3	29.3	21.3	17.8	15.1	28.0	74.7	46.0

注1 増減率は、35年戸数から25年戸数を差引いたものを、25年戸数で除して100倍したものである。
 2 専業率・兼業率とは、ここでは専業農家又は兼業農家を総農家で除して100倍したものである。

表B 経営耕地広狭別専業農家(専業率)のヒストグラム



注 この表は広狭階層の総農家数を100としたときの階層ごとの専業農家の割合を柱状グラフにしたものである。従つて各階層上部空間は兼業農家の割合を示している。4.959ha (5町歩)以上では専業農家が6.8%戸数で3戸増加しているが、それ以下は、耕地の少ない階層専業農家が減少している。

第2に農作業の機械化(昭和25年を100としたとき、昭和35年には、畜力と動力とに依存する農家は122.5、動力のみの場合は246.8)等による余剰労働力の消化がし切れないこと。

の2つの理由があげられるが、この余剰労働力を、他の第2次、第3次産業に振りむけ、より効率的兼業収入によつて、農家経済を積極的に向上せしめるといふ問題を含んでおり、これはまた県民所得の向上に直結され、人口の県外流出問題への解決ともなるものと考えられる。

畜力・動力使用農家の経営耕地広狭別増減比較

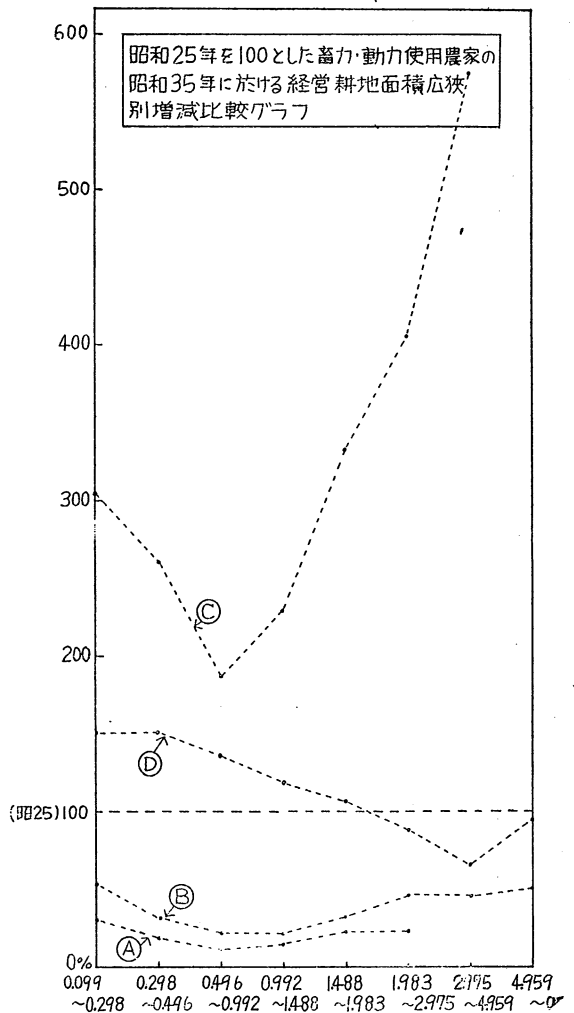
農作業が人力以外に何に依存したか、またその依存度がどのように変化したかを知ることは、生産性の向上とか、或いは農作業の合理化改善の面からも重要なことである。そこで昭和25年と昭和35年のセンサスから

- (A) 畜力も動力も使わなかつた農家
- (B) 畜力だけ使つた農家
- (C) 動力だけ使つた農家
- (D) 畜力も動力も使つた農家

の4つに区分して比較したのが次の表である。

資料の関係から単純比較であるから、その変化の速率は計算し得ないが、変化そのものは、明瞭に比較することが出来る。即ち

(A) については、各階層区分とも概ね大差なく同じように低下を示し、昭和25年当時から70%~80%の減少を示し、農家戸数では、昭和25年に56,387戸であつたものが昭和35年には、11,388戸となり79.8%の減少を示している。



第6表 畜力・動力使用農家の経営耕地広狭別増減比較表①

営農形態		(A)動力も畜力も 使わなかつた 農 家	(B)畜力だけを使 つた 農 家	(C)動力だけを使 つた 農 家	(D)畜力も動力も 使つた 農 家	計
0.099~0.298 ヘクタール (1~3反)	昭和25 (30) (25)%	18,440	3,425	3,371	5,505	30,741
	35	32.80	53.46	302.91	150.35	—
		6,048	1,831	10,211	8,277	26,367
0.298~0.496 (3~5)	25	11,742	4,808	3,773	7,574	27,897
	%	19.55	32.09	261.54	159.13	—
	35	2,296	1,543	9,868	12,033	25,740
0.496~0.992 (5~10)	25	15,015	12,419	9,900	25,919	63,253
	%	12.79	21.93	186.96	137.00	—
	35	1,920	2,723	18,509	35,510	60,105
0.992~1.488 (10~15)	25	4,692	7,891	6,194	31,052	49,829
	%	14.52	22.42	229.08	119.21	—
	35	575	1,769	14,189	37,018	53,551
1.488~1.983 (15~20)	25	1,063	2,677	2,141	20,631	26,512
	%	23.05	32.24	331.25	107.70	—
	35	245	863	7,092	22,219	30,419
1.983~2.975 (20~30)	25	301	734	698	10,447	12,180
	%	22.26	46.46	404.91	88.84	—
	35	67	341	2,826	9,281	12,515
2.975~4.959 (30~50)	25	17	64	38	768	887
	%	—	43.75	573.68	65.10	—
	35	—	28	218	500	746
4.959~∞ (50~∞)	25	2	4	0	17	23
	%	—	50.00	—	94.12	—
	35	—	2	7	16	25
例外規模	25	115	1	1	1	118
	%	—	—	—	—	—
	35	237	4	13	11	265
計	25	56,387	32,023	26,116	101,914	211,440
	%	20.20	28.20	246.79	122.52	—
	35	11,388	9,029	64,451	124,865	209,733

(B) では、0.496ha（5反）から1.488ha（1町5反）の農家が最も減少して22%まで低下し、全体では32,023戸から9,029戸となり、28.2%となっている。

(C) では、耕地面積の大きい農家程農作業機械化への変化が大きく、全体では26,116戸から64,451戸となつて246.79%増加である。

(D) については全体で122.5%の増加であるが、耕地面積の低い農家程増加率は高く、逆に2町歩以上になると減少を示している。この減少階層は動力のみの機械化率において激増していることに注目すべきである。

結論として畜力も使わない農家が、昭和25年を100と

した場合、今回のセンサスではその当時の20%から27%程度に減少し、その反面畜力と動力との双方に依存する農家の増加が、122%強となり、特に動力のみに依存する農家に至つては、250%近い激増を示していることに特色がある。

次には、昭和40年にはどのように変つてゆくだろうかということに触れると昭和25年と35年の両センサス間の変化が一定とした場合の単純推計であるが

(A) 動力も畜力も使わない農家は、全然なくなる計算である。

(B) 畜力だけを使う農家は3反未満で昭和25年当時の23

.27%797戸，2町歩以上では19.49%で僅かに156戸となり，3反以上2町歩未満では使用農家がなくなるだろう。

C 動力のみに依存する農家は，どの経営耕地階層も著しく増加し現在の5反から1町歩の農家(18,509戸)では昭和40年には22,810戸となつて，昭和25年当時の2.3044倍となり，この階層を増加率の最低とする上に凹の双曲線の増加をし，特に2町歩以上では，昭和25年の5.74倍，昭和35年の3,051戸に対し40年は4,220戸に達すると推定される。

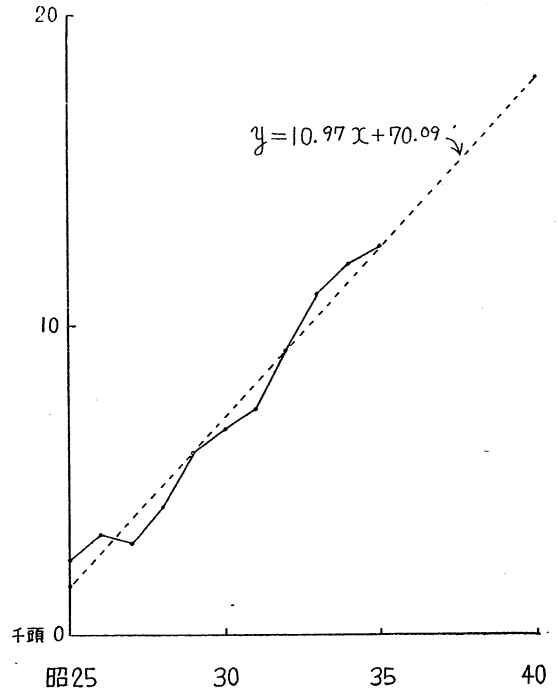
D 畜力も動力も使う農家は2町歩未満が増加し2町歩以上が減少し，その差が益々大きくなり，3反未満では，昭和25年の3.29倍10,830戸程度に増加するであろうが，これに対し3町～5町階層では昭和25年の64.03%490戸程度になると思われる。

以上単純な推計であるが，役肉用牛の昭和35年78,982頭から40年の飼養推計頭数59,200頭，また同様に馬も17,532頭から10,200頭とそれぞれ減少していることによつても畜力依存農家数の低下傾向は肯定し得るものと考えられる。

イ 乳用牛

乳用牛の飼養は，各年1万1千頭平均の直線的増加を示しているが，この増加の内訳をみると，昭和25年と35

年との比較では，農家数で1,668戸から7,801戸となり4.6倍，頭数で2,237頭から12,507頭となつて5.7倍にな



第7表
乳用牛飼養頭数

昭和	乳用牛
25	2,365
26	3,198
27	3,059
28	4,065
29	5,837
30	(6,583)
31	7,329
32	9,193
33	11,008
34	11,893
35	12,507
40	(18,000)

乳用牛の昭和25年と35年の飼養状況比較

経営耕地 広狭別	25		35		倍率	
	(A)飼養農家	(B)頭数	(C)農家	(D)頭数	農家 $\frac{C}{A}$	頭数 $\frac{D}{B}$
ヘクタール 0.1～0.3	25	(2.6) 63	96	(1.7) 160	3.8	2.5
0.3～0.5	65	(1.3) 86	211	(1.5) 320	3.2	3.7
0.5～1	329	(1.3) 427	1,766	(1.4)2,501	5.4	5.9
1～1.5	513	(1.2) 612	2,834	(1.6)4,445	5.5	7.3
1.5～2	420	(1.2) 515	1,991	(1.6)3,229	4.7	6.3
2～3	270	(1.4) 382	822	(2.0)1,613	3.0	4.2
3～5	49	(1.6) 78	71	(2.3) 160	1.4	2.0
5～∞	17	(2.0) 34	6	(10.2) 61	0.4	1.8
例外規定	10	40	4	18	0.4	0.5
計	1,698	(1.3)2,237	7,801	(1.6)12,507	4.6	5.7

()内は補間または推計

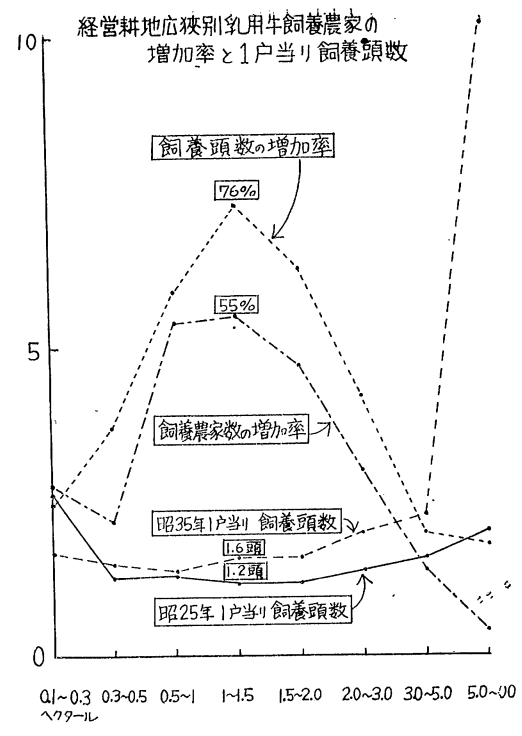
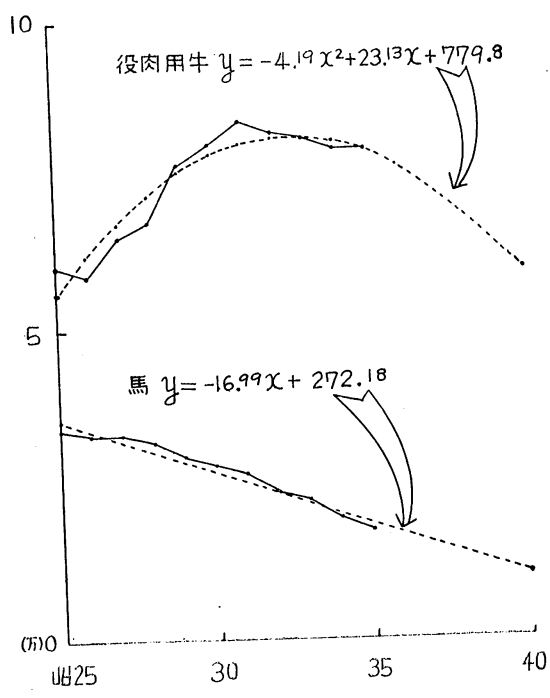
つている。更にこれを経営耕地広狭別にみると，農家戸数，飼養頭数共に最も上昇しているのは0.992ヘクタール(1町歩)から1.488ヘクタール(1町5反)階層で，

戸数では5.5倍，頭数では7.3倍になつている。

これは，この階層に属する農家の，世帯員構成とか農業設備とか，労力等の面から酪農への切替えが最も容易

であることを示しているものと思われる。しかし、1戸当りの飼養頭数の変化をみると、経営耕地の大なる程頭数が増加し、特に4.959ヘクタール（5町）以上では客体が17から6に減少しているに拘らず、頭数は1.8倍に増加し、1戸10.2頭となっており、2.975ヘクタール（3反）未満では客体3.8倍であるのに頭数2.5倍であつて頭数が1戸当り2.6頭から1.7頭に減少している。即ち本県における農業経営で酪農への切替え容易な階層としては経営耕地を0.992ヘクタール（1町歩）から1.488ヘクタール（1町5反）保有している農家が最もスタンダードな状態にあり、この階層より耕地が少なくなる程また大きくなる程その可能性は減少している。

更に1.983ヘクタール（2町歩）以上の比較的大規模経営の農業は、労力不足を動力に依存（昭和25年100に対し35年414）して作業量を補充し、酪農への余裕がないことがこの階層の飼養農家数の減少となつてあらわれ0.992ヘクタール（1町歩）未満の小規模経営の農業では1戸あたりの飼養頭数の減少を示し、農業単独依存から離れて兼業（35年兼業率82.8%）に走り、耕地広狭別農家の度数分布は低階層に傾いている。これから本県農業の、より安定した姿をピークの厚生経済学的にみれば大規模経営農業を下げ、小規模経営農業を上げて標準経営農業を安定せしめ、度数分布曲線を正規分布に近づかしめ分散度を小さくするようすべきであろう。これは酪農切替による副収入の増加のみならず、農家経済の向上についての根本的問題でもある。



口 役 肉 用 牛

役肉用牛の飼養頭数をみると、昭和26年に58,775頭であつたのが概ね直線的な増加を続け、31年に83,460頭となり、これ以降は漸減の傾向に転じ、昭和35年には78,982頭となつた。25年から35年までの傾向を計算すると、昭和33年を頂点とする上に凸の二次曲線で昭和40年には59,200頭に減少し馬と同様に斜陽家畜としての減少を続けてゆくものと思われる。

第8表 役肉用牛・馬の飼養頭数

昭和	役肉用牛	馬
25	60,549	34,094
26	58,775	33,023
27	65,109	33,013
28	67,497	31,962
29	76,389	29,496
30	(79,926)	(28,001)
31	83,460	26,506
32	81,686	23,944
33	80,349	22,213
34	79,020	19,817
35	78,982	17,532
40	(59,200)	(10,200)

ハ 馬

馬の農業における分野は、動力の進出によつて大きく変わり、農用馬は衰退の一途をたどり、現在の減少速度は昭和46年に零線に交差する方向に一方的減少を示している。しかし馬の飼養農家がなくなるということではなく、一定の限度に近づくと減少速度が鈍つて農耕馬利用の農家は、依然温存されることになる。

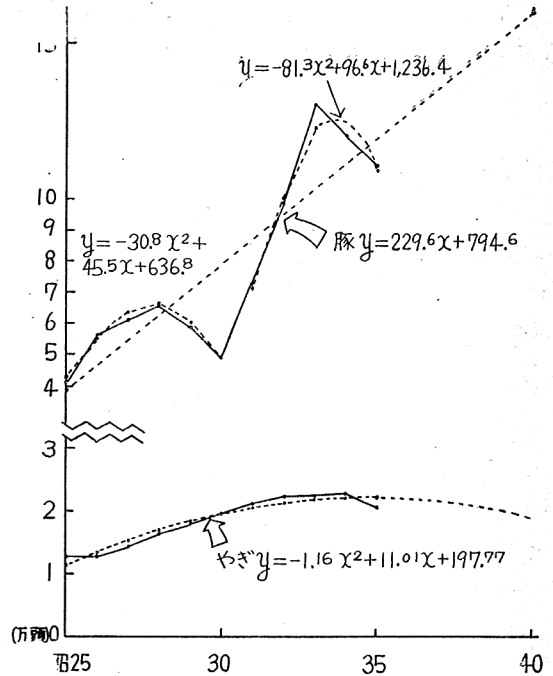
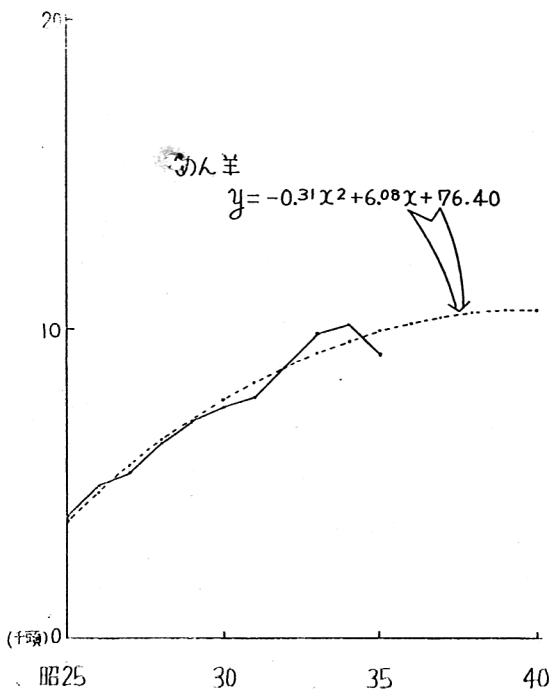
ニ 豚

豚の飼養頭数は全国第1位を独占する形で、35年2月1日における本県の飼養頭数は110,974頭で全国同期の1,918,000頭に対して5.8%となっている。しかし昭和25年以降の飼養頭数の推移をみると、25年の42,300頭から26,27,28年と上昇して28年は67,090頭となつてその後2年は下降し、30年は25年に対して49,600頭となり、再び上昇の3カ年を経て33年には131,323頭、再び下降して35年は30年に対しいわゆる5カ年を振幅とする周期的変化を示し、その周期の前3カ年は上昇し、その周期の頂点から2カ年は下降を示しながら傾向としては、毎年22,900頭づつ増加を示す傾向にある。この周期的変動は、飼養頭数が低下すると価格が上昇して飼養熱を刺激し、飼養頭数の上昇となつてあらわれ、飼養頭数が需要頭数をオーバーすると価格

第9表 やぎ、豚の飼養頭数

昭和	やぎ	豚
25	12,757	42,300
26	12,907	56,594
27	14,280	61,836
28	16,680	67,090
29	18,143	59,817
30	(19,617)	(49,600)
31	21,091	73,769
32	22,547	99,285
33	22,719	131,323
34	23,092	121,549
35	20,902	110,974
40	(19,190)	(160,400)

示しながら傾向としては、毎年22,900頭づつ増加を示す傾向にある。この周期的変動は、飼養頭数が低下すると価格が上昇して飼養熱を刺激し、飼養頭数の上昇となつてあらわれ、飼養頭数が需要頭数をオーバーすると価格



が低下して飼養頭数が下がるという需要と供給との市場均衡による周期変動であると思われる。従つて35年は周期変動の底にある年であつて36, 37, 38年と上昇し38年が一周期の頂点となり、39, 40年と低下し、40年における本県の飼養頭数は、概ね160,000頭と推計される。また今後の問題としては、周期変動の振幅を少なくすること即ち市場価格を安定させることであるが、それには先ず品質を改善せしめ5年周期の価格変動を少なくすることであろう。

ホ や ぎ

やぎは、昭和25年の12,757頭から35年の20,902頭に増加したが、その間の推移をみると、増加速度が年々鈍つて34年の23,091頭を最高頭数として、35年の前記頭数に低下をしている。傾向としては35年を頂点とする上に凸の二次曲線が綺麗にあてはまる増加傾向を示して来たが、今後はやや減少傾向に転じ、昭和40年は、30年に対象する程度に下がり19,190頭程度に推計される。

へ め ん 羊

めん羊の昭和25年以降35年に至る推移をみると、増加傾向がだんだん鈍つてきている。傾向としては昭和40年を頂点とする上に凸の二次曲線があてはめられる。これはめん羊飼育が受入限度に近づきつつあることと、羊毛の需要が化学繊維に抑制されされ、羊毛の市場価格が停滞しているためであろう。しかし受入限度といつても、

現在の飼養状態は特別な経済的支出が伴わず飼料なども生産物の廃棄類似のものを与えるか、放し飼いの程度に飼育状態での受入限度であり、新たな市場の開拓があれば当然飼養形態の変化とともに、増加する余裕を含んでいる。

ト 兎

兎については昭和25年からは年々増加速度が鈍りながら増加を続け31年には47,391頭となつて、それまでの増

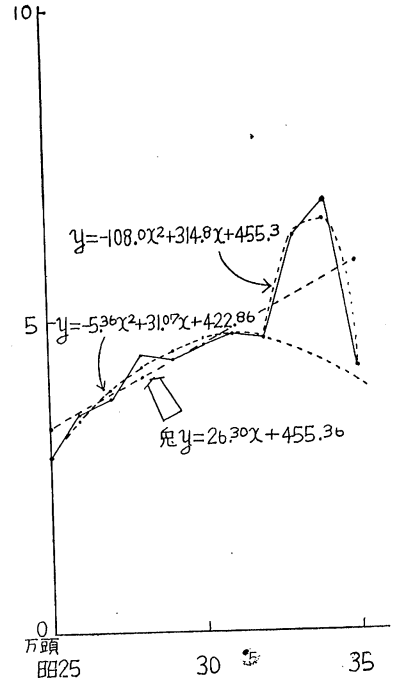
加傾向の頂点なり、32年はやや減少に転じ、46,633頭となつた。しかし突然に33年、34年と跳躍的に上昇し33年63,048頭、34年68,455頭となり、35年は正常に復して、41,699頭となつた。これは、豚の市場価格の急騰の影響を受け、加工業者が豚の代用として兎を利用したため、アンゴラ兎の価格が上昇し、これが兎の飼養頭数急騰を招いた結果であろう。従つて今後は減少傾向をたどり昭和40年には19,700頭程度になると思われる。

第10表 めん羊の飼養頭数

昭和	めん羊
25	3,910
26	4,858
27	5,328
28	6,287
29	6,960
30	(7,365)
31	7,770
32	8,777
33	9,841
34	10,314
35	9,143
40	10,600

第11表 兎の飼養羽数

昭和	兎
25	(27,717)
26	34,988
27	37,306
28	44,251
29	43,827
30	(45,609)
31	47,391
32	46,633
33	63,048
34	68,455
35	41,699
40	(19,700)



チ にわとり

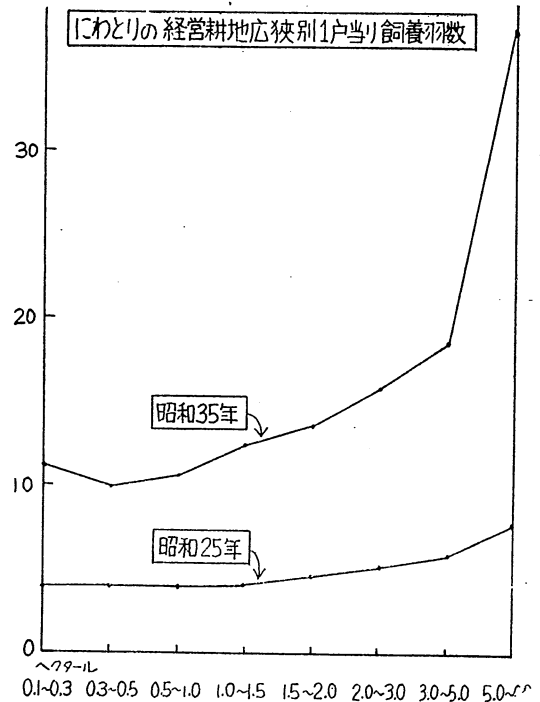
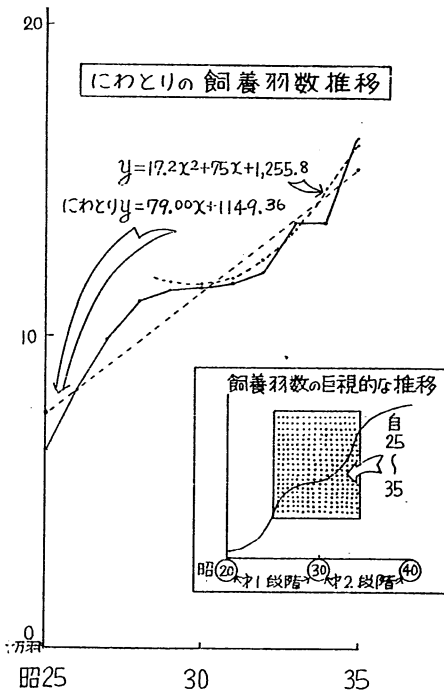
生物の生長過程を示すにロヂステイツク曲線なるものがある。即ちその生長の当初、生長は極めて徐々に、次第にその速度を増し、その活動範囲内で概ねマキシマムに近づくと、次第にその速度は鈍つて、その極限に徐々に近づくとということ、これを図表に示せばS字形の曲線によつて示される。このような観点から、にわとりの飼養羽数の推移をみると、昭和30年までの一つの段階とそれ以降の第二の段階が考えられる。即ち昭和25年センサスにおける、1農家当り飼養羽数は、平均4.2羽で、こ

の飼養能力形態では、本県全体として概ね11万羽前後の飼養形態でのマキシマムに達した時期が、昭和29年から昭和30年に当る。しかし、その後更に、にわとり飼養の副業の必要性から、飼養設備あるいは飼養形態に若干の改良を加え、新たな設備形態のもとでは更に増加傾向に移り、新たにロヂステイツクな増加を示して、昭和30年1,163,583羽から、その翌年1,178,897羽、32年に1,214,437羽と徐々に増加しだし、その後増加速度を増して35年現在1,644,106羽、1戸当り12.1羽となり、今後も当分の速度を減少せしめることなく増加を続けてゆくものと思考される。

昭和25年と35年のにわとり飼養農家と羽数の比較

第12表
にわたりの飼養羽数

経営耕地広狭区分 ヘクタール (反)	昭 25			昭 35			昭和	にわとり(羽)
	飼養農家	羽 数	1戸当 り羽数	飼養農家	羽 数	1戸当 り羽数		
0.099~0.298 (1~3)	9,698	36,990	3.8	9,374	104,446	11.1	25	636,225
0.298~0.496 (3~5)	13,921	52,268	3.8	12,424	121,909	9.8	26	803,107
0.496~0.992 (5~10)	40,981	154,973	3.8	37,592	390,187	10.4	27	989,967
0.992~1.488 (10~15)	41,480	166,544	4.0	40,436	493,793	12.2	28	1,118,848
1.488~1.983 (15~20)	27,596	124,771	4.5	24,949	335,112	13.4	29	1,148,268
1.983~2.975 (20~30)	16,196	82,194	5.1	10,639	166,543	15.7	30	1,163,583
2.975~4.959 (30~50)	1,757	9,687	5.5	655	11,958	18.3	31	1,178,897
4.959~∞ (50~∞)	100	762	7.6	19	704	37.1	32	1,214,437
例 外	79	8,036	101.7	165	19,454	117.9	33	1,372,673
計	151,808	636,225	4.2	136,253	1,644,106	12.1	34	1,372,673
							35	1,644,106
							40	(1,939,000)



この表の特徴は、経営耕地面積の大なる程飼養羽数が多くなることと、各広狭階層ごとの増加率もそれに比例して増加していることである。

保有山林の林産物について

本県における林産物は、この1年間に販売されたものと、自家用その他に消費されたものに分けて統計値が把握された。

立木については、販売および自家用その他に消費されたものうち99.8%133,225m³が販売向けられ、自家用その他には0.2%僅かに267m³が充当され、素材については、販売に54.5%13,812m³となつて過半数を占めている。

木炭についてもその全量の81.4%である222,935俵が販売に向けられ50,840俵が自家用、その他に消費されている。

薪については、22.4%が販売に回され、その数量は35,696束で大部分(77.6%123,676束)は自家用、その他に使われていることになる。木炭の原木、薪の原木とも殆んど(99.6%)が販売であるのは、林産物の形態からも当然であろう、またそだについては93.6%に当る3,560,020束が自家用その他で、販売されたのは6.4%の242,393束に過ぎない。竹林は69.1%の110,111束が販売されて20,082,010円の販売金額が計上されたが、自家用その他への利用度も高く49,342束が費消され、特殊林産物つまり、クルミとか、ヤマナシのような樹実、シユロなどの樹皮、マツヤニのような樹液、サンショウなどの樹葉その他、葉柄、樹根などの林産物は、1,797,760円の販売があつたことになるが、本県の昭和35年2月1日現在における過去1年間の林産物の販売額は、1,031,257,137円で134,144ヘクタールの保有山林からの林産物の販売額としては、若干少額のように思われる。この理由としては、前の保有山林面積の解説でも触れたが、保有山林面積の98.57%を占む樹林地の樹木が10年生以下の幼樹で過半数に達し、高樹令の山林が少くないことに基因すると考えられる。即ち林木過伐の結果として、樹令階層区分による分布曲線のモードが、幼樹令に移つているため生産された林産物の販売額も低調を示しているとみられる訳である。

従つて今後の問題としては、進んで幼樹令利用の方法を工夫をすとか、或いは高樹令の伐採を抑制し、樹林に対して施肥等の積極管理を行ない、林木の生長を強化せしめる、または山林の地質、高度などから土地に適合した樹種と選定して植林する苗木の育成にも配慮する等種々な方法が考えられるが、要するに本県における山林の樹令別樹林構成のモードを高樹令に移動せしめなければ、林産物の販売額は低調を続けてゆくであろうと考える。

保有山林の客体別面積について

今回のセンサスにおいて林業の実態把握は属人主義によつて行つた。そのためその市町村外にある山林については、調査洩れが生じる虞れがあるため、山林の所在する市町村から、所有者の所在する

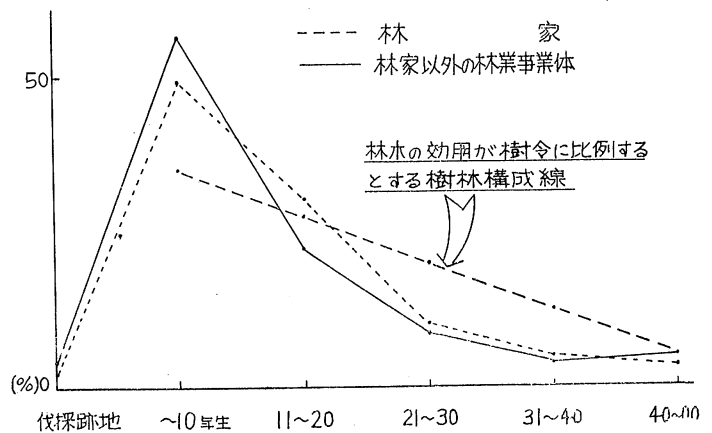
市町村に不在者名通知票を送付する等の処置をして、客体の把握脱漏を防いだ。このようにして所有山林を調査したが、現実の山林経営の実態は、所有山林を他人に貸したり、分収林を設けさせたりして、所有山林による調査では林業の実態把握が適正であるとは思われない。そこで所有山林から分収林を設けさせている山林や、貸している山林を除き、借りている山林や分収林を設けている山林を加えた、いわゆる保有山林を中心にした調査を行つた。その結果が即ち「保有山林面積広別客体別林業、事業体数と山林面積」の表である。この表によれば、本県における国有林及び県有林を除いた林業事業体数は81,813(この数は保有山林1反未満を除く)であり、そのうち林家は、75,676で全体の92.5%を占め、林家以外の林業事業体数は6,167である。山林面積は134,670.44町歩のうち林家が115,386.01町歩で85.5%、林家以外では、19,284.43町歩で14.5%である。従つて1事業体当りの平均山林面積は林家で1町5反2畝、林家以外では3町1反4畝となつている。

また山林における林産物の主たる生産母体は、樹林地であるが、保有山林面積に対する樹林地面積の比率は林家では98.38%、林家以外では99.52%となり、樹林地を人工林と天然林とに分けると、樹林地面積に対する人工林面積の比率は林家で70.82%、林家以外で62.89%となり、林家の人工樹林地の方が7.93%も多くなつている。これは林家の方が伐採後の管理が良好であることを示し従つて人工林面積が多いという結果になつている。

又樹林地を構成する樹木の樹令別樹林地面積をみると次の図の如くなる。

この表で示しているように本県の樹林地は伐採跡地と10年生以下で過半数が占められ、また11年生以上でも、樹木の効用が、樹令に比例するとすれば、図上で10年生以下の頂点から40年生以上についての樹林地構成は、直線的に示されると考えられるに拘わらず、下に凸の瘦形折線で結ばれており、樹木の自然生長が、伐採に追いつけないことを示している。従つて直線的構成比を示すまでの、今後10~20年間林産物の需要をどのように扱うかは、今後の林政上重要な課題であろう。

樹林地面積の樹令別構成比



第13表 林産物の種類別・客体別一覧表

客 体 別	用 材																木 炭				薪				木 炭 の 原 木			
	販 売				自家用その他				販 売		自家用その他		販 売		自家用その他		販 売		自家用その他									
	立 木		素 材		立 木		素 材		体数	数量 俵	体数	数量 俵	体数	数量 束	体数	数量 束	体数	数量 層積 ³ m ³	体数	数量 層積 ³ m ³								
	体数	数量 m ³	体数	数量 m ³	体数	数量 m ³	体数	数量 m ³																				
県 計	3,040	133,225	651	13,812	28	267	1,331	11,552	1,122	222,935	2,520	50,840	1,953	35,696	21,363	123,676	1,602	46,860	7	10								
林 家	2,822	85,539	616	12,424	—	—	1,299	11,226	1,089	203,998	2,485	49,467	1,878	32,550	21,162	122,030	1,483	36,728	—	—								
林家以外の林業 事業体計	218	47,686	35	1,388	28	267	32	326	33	18,937	35	1,373	75	3,146	201	1,646	119	10,132	7	10								
会 社	—	—	1	111	—	—	1	83	—	—	—	—	—	—	4	9	—	—	—	—								
B 判 定	社 寺	16	1,178	2	100	1	28	—	—	1	10	5	117	2	10	22	864	2	8	—	—							
	共 同	90	6,509	9	308	4	8	11	86	28	15,015	5	224	35	1,359	101	534	84	6,285	2	—							
	団 体	1	167	1	8	—	—	1	28	—	—	1	225	1	7	—	—	—	—	—	—							
財 産 区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
A 判 定	社・共・団 部	95	11,914	21	486	22	213	18	119	3	1,408	24	807	34	1,476	74	239	29	1,447	5	10							
	財 産 区	7	1,974	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	125	—	—	4	2,392	—	—							
市 町 村	8	22,456	—	—	1	18	1	10	—	—	—	—	1	73	—	—	—	—	—	—								
地方公共団体 の 組 合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
県 有 林	1	3,488	1	375	—	—	—	—	1	2,504	—	—	1	96	—	—	—	—	—	—								

(続)

客 体 別	薪 の 原 木				そ だ				竹 材				特殊林産物		合 計			
	販 売		自家用その他		販 売		自家用その他		販 売		自家用その他		販 売		合 計			
	体数	数量 層積 m ³	体数	数量 層積 m ³	体数	数量 束	体数	数量 束	体数	数量 束	金額	体数	数量 層積 束	体数	金額	体積	金額	
県 計	687,163	304	25	247	1,033	242,393	30,492	3,560,020	1,949	110,111	20,082,010	2,826	49,342	57	1,797,760	9,187	1,031,257,137	
林 家	637,136	628	—	—	967	205,099	29,969	3,384,292	1,905	101,709	18,860,010	2,804	48,117	54	1,725,760	8,654	760,774,179	
林家以外の林業 事業体計	50	2,676	25	247	66	37,294	523	175,728	44	8,402	1,222,000	22	1,225	3	72,000	533	270,482,958	
会 社	—	—	—	—	—	—	1	40	—	—	—	—	—	—	—	1	900,000	
B 判 定	社 寺	5	33	2	5	1	20	26	2,724	6	317	47,000	3	520	1	3,000	32	3,748,028
	共 同	17	733	17	195	7	10,609	302	67,384	9	1,380	129,000	4	120	—	—	241	55,365,000
	団 体	—	—	—	—	1	500	—	—	1	20	2,000	—	—	—	—	2	1,572,000
A 判 定	財 産 区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社・共・団 部 財 産 区	26	955	6	47	56	20,507	184	102,630	28	6,680	1,044,000	15	585	2	69,000	236	40,866,030
	財 産 区	1	445	—	—	—	—	10	2,950	—	—	—	—	—	—	—	11	18,052,000
市 町 村	1	510	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	107,713,900
地方公共団体の 組 合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県 有 林	—	—	—	—	1	5,658	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	42,266,000

注1 この表には、本県内に所在する国有林の林産物は含まれてない。

2 用材の1m³とは石敷に換算すると3.6石である。

3 素材とは立木を伐採したもので角材等に加工する以前のものである。

4 木炭は、1俵15キログラム(4貫匁)のものとした。

5 層積m³とは2.25石または0.63m³である。

6 薪1束の層積立方メートル換算は、長さ(尺)×胴回り(尺)²×0.002=x層積m³

7 そだ、竹1束の標準は、胴回りx尺の2乗に0.092倍したものを標準束とした。

8 薪・木炭の原木・薪の原木での層積立方換算は次の式に拠った。x層積立方メートル=長さ(尺)×巾(尺)×高さ(尺)×0.028

第14表(A) 保有山林面積広狭別客体別林家事業体数と山林面積

保有山林広狭別 単位ヘクタール()内町歩	林		家		会 社		B 判 定						A 判 定				
	体 数	面 積	1事業体当 り山林面積	体数	面積	社 寺 共		同 団 体		財 産 区		社, 共, 団, 部		財 産 区			
						体数	面積	体数	面積	体数	面積	体数	面積	体数	面積	体数	面積
0.1 ~ 0.298	20,314	3,498.7	0.17	5	0.9	112	48.6	769	136.3	—	—	—	—	707	202.1	—	—
(0.1 ~ 0.3)																	
0.298~0.496	11,982	4,408.7	0.37	3	1.1	47	23.0	414	161.4	5	2.0	—	—	365	138.9	—	—
(0.3 ~ 0.5)																	
0.496~0.992	16,499	11,076.0	0.67	7	4.9	64	43.6	656	458.3	6	3.8	—	—	372	265.5	1	0.5
(0.5 ~ 1.0)																	
0.992~2.975	18,102	28,783.2	1.59	11	20.9	64	108.5	997	1,697.5	6	9.2	—	—	390	656.8	8	16.3
(1.0 ~ 3.0)																	
2.975~4.959	4,538	16,670.2	3.67	2	7.8	21	74.9	294	1,111.5	1	4.6	—	—	126	473.1	3	10.5
(3.0 ~ 5.0)																	
4.959~9.917	2,718	17,850.5	6.57	9	62.5	15	96.7	196	1,318.1	4	32.5	—	—	121	841.5	4	26.2
(5.0 ~ 10)																	
9.917~19.835	1,034	13,344.9	12.90	4	52.3	1	14.6	104	1,342.6	1	14.7	—	—	43	599.5	7	108.6
(10 ~ 20)																	
19.835~29.752	251	5,807.9	23.14	1	23.4	1	26.8	21	503.5	—	—	—	—	24	572.6	1	26.5
(20 ~ 30)																	
29.752~49.587	156	5,589.5	35.83	1	40.8	—	—	12	447.7	—	—	1	47.9	13	493.7	3	119.4
(30 ~ 50)																	
49.587~99.174	54	3,343.6	61.91	2	152.8	1	79.4	7	406.6	—	—	—	—	10	797.3	3	203.8
(50 ~ 100)																	
99.174 ~ 198.348	26	3,289.0	126.51	—	—	—	—	1	125.2	—	—	—	—	6	850.5	—	—
(100 ~ 200)																	
198.348~495.870	2	770.6	385.29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	282.7	1	214.3
(200 ~ 500)																	
495.870 ~ ∞	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(500 ~ ∞)																	
計	75,676	114,432.8	1.51	45	367.4	326	516.1	3,471	7,708.7	23	66.8	1	47.9	2,178	6,174.2	32	1,279.8
樹 林 地	(A) 74,440	(B) 112,580.6	(B) —	(A) 45	(B) 365.3	(A) 317	(B) 507.2	(B) 3,446	(A) 7,688.8	(B) 22	(A) 64.0	(B) 1	(A) 47.9	(B) 2,156	(A) 6,121.6	(B) 32	(A) 1,279.8
樹 林 地 率	(A) —	(B) 98.38	(A) —	(B) —	(A) 99.45	(B) —	(A) 98.29	(B) —	(A) 99.74	(B) —	(A) 95.94	(B) —	(A) 100.0	(B) —	(A) 99.15	(B) —	(A) 100.00
人 工 林 面 積	(C) —	(C) 79,733.3	(C) —	(C) —	(C) 313.0	(C) —	(C) 426.3	(C) —	(C) 4,019.2	(C) —	(C) 36.4	(C) —	(C) 47.9	(C) —	(C) 4,081.3	(C) —	(C) 585.3
人 工 林 比 率	(C) —	(C) 70.82	(C) —	(C) —	(C) 85.68	(C) —	(C) 84.03	(C) —	(C) 52.27	(C) —	(C) 56.84	(C) —	(C) 100.00	(C) —	(C) 66.67	(C) —	(C) 45.75
天 然 林 面 積	(D) —	(D) 32,848.3	(D) —	(D) —	(D) 52.3	(D) —	(D) 80.9	(D) —	(D) 3,669.6	(D) —	(D) 27.6	(D) —	(D) —	(D) —	(D) 2,040.3	(D) —	(D) 694.5
天 然 林 比 率	(D) —	(D) 29.18	(D) —	(D) —	(D) 14.32	(D) —	(D) 15.97	(D) —	(D) 47.73	(D) —	(D) 43.16	(D) —	(D) —	(D) —	(D) 33.33	(D) —	(D) 54.26
針 葉 樹 林 面 積	(E) —	(E) 71,041.8	(E) —	(E) —	(E) 311.7	(E) —	(E) 453.7	(E) —	(E) 3,708.8	(E) —	(E) 48.3	(E) —	(E) 25.1	(E) —	(E) 3,572.2	(E) —	(E) 510.9
針 葉 樹 比 率	(E) —	(E) 63.10	(E) —	(E) —	(E) 85.34	(E) —	(E) 89.63	(E) —	(E) 48.24	(E) —	(E) 75.51	(E) —	(E) 52.36	(E) —	(E) 58.35	(E) —	(E) 39.94
広 葉 樹 林 面 積	(F) —	(F) 41,538.8	(F) —	(F) —	(F) 53.6	(F) —	(F) 53.5	(F) —	(F) 3,980.0	(F) —	(F) 15.7	(F) —	(F) 22.8	(F) —	(F) 2,549.4	(F) —	(F) 768.9
広 葉 樹 比 率	(F) —	(F) 36.90	(F) —	(F) —	(F) 14.66	(F) —	(F) 10.37	(F) —	(F) 51.76	(F) —	(F) 24.49	(F) —	(F) 47.64	(F) —	(F) 41.65	(F) —	(F) 60.06

注 1 この表で林家とは、保有山林1反歩以上の世帯である林家事業体である。
 2 A判定とは、その林家事業体の山林が昔からのしきたりによつて持っていたり、利用させたりするいわゆるしきたりの残っている林家事業体をいう。
 3 B判定とは、その林家事業体の山林について上記のようなしきたりの残っていない事業体をいう。
 4 この表には、本県内に所在する国有林48,968ヘクタールを除いたものである。

第14表(B) 保有山林面積広別客体別林業事業体数と山林面積

保有山林広別 単位ヘクタール()内町歩	客体区分		地方公共団 体の組合		県		林家以外の林業事業体計			合 計	
	市	町 村	体数	面積	体数	面積	体数	面積	1事業体 当り面積	体数	面積
0.1 ~ 0.298 (0.1 ~ 0.3)	5	0.8	—	—	—	—	1,598	388.7	0.24	21,912	3,887.4
0.298~0.496 (0.3 ~ 0.5)	1	0.3	—	—	—	—	835	326.7	0.39	12,817	4,735.4
0.496~0.992 (0.5 ~ 1.0)	3	2.3	—	—	—	—	1,109	779.0	0.70	17,608	11,855.0
0.992~2.975 (1.0 ~ 3.0)	8	13.4	—	—	—	—	1,484	2,522.7	1.70	19,586	31,305.9
2.975~4.959 (3.0 ~ 5.0)	3	11.9	—	—	—	—	450	1,694.4	3.77	4,988	18,364.6
4.959~9.917 (5.0 ~ 10)	10	77.5	—	—	—	—	359	2,454.9	6.84	3,077	20,305.4
9.917 ~ 19.835 (10 ~ 20)	5	81.8	—	—	—	—	165	2,213.9	13.42	1,199	15,558.8
19.835~29.752 (20 ~ 30)	2	56.7	—	—	—	—	50	1,209.5	24.19	301	7,017.4
29.752~49.587 (30 ~ 50)	3	143.5	—	—	—	—	33	1,292.9	39.18	189	6,882.4
49.587~99.174 (50 ~ 100)	13	923.2	—	—	—	—	36	2,563.1	71.20	90	5,906.7
99.174~198.348 (100 ~ 200)	6	666.8	—	—	—	—	13	1,642.5	126.35	39	4,931.5
198.348~495.870 (200 ~ 500)	1	383.1	—	—	—	—	3	880.1	293.37	5	1,650.7
495.870~ ∞ (500 ~ ∞)	1	603.0	—	—	1	2,530.1	3	3,686.8	1,228.93	3	3,686.8
計 (A)	61	2,964.3	—	—	1	2,530.1	6,	13821,655.2	3.53	81,814	136,088.0
樹 林 地 (B)	61	2,958.7	—	—	1	2,530.1	6,	08121,563.3	3.33	80,521	134,144.0
樹 林 地 率 $\frac{(B)}{(A)}$	—	94.79	—	—	—	100.00	—	99.57	—	—	99.57
人 工 林 面 積 (C)	—	2,459.6	—	—	—	2,439.0	—	14,407.8	—	—	94,141.2
人 工 林 比 率 $\frac{(C)}{(B)}$	—	83.14	—	—	—	96.39	—	66.82	—	—	70.18
天 然 林 面 積 (D)	—	499.1	—	—	—	91.1	—	7,155.5	—	—	40,002.8
天 然 林 比 率 $\frac{(D)}{(B)}$	—	16.86	—	—	—	3.61	—	33.18	—	—	29.82
針 葉 樹 林 面 積 (E)	—	2,565.6	—	—	—	2,343.4	—	13,539.6	—	—	84,581.5
針 葉 樹 比 率 $\frac{(E)}{(B)}$	—	86.72	—	—	—	96.08	—	62.78	—	—	63.05
広 葉 樹 林 面 積 (F)	—	393.1	—	—	—	186.7	—	8,023.7	—	—	49,562.5
広 葉 樹 比 率 $\frac{(F)}{(B)}$	—	13.28	—	—	—	3.92	—	37.22	—	—	36.95



機構改革後の本県統計課

このたび、本県の後進性を脱却し、総合開発を進め、民生の安定を図るという構想のもとに、行政機構の改編が行なわれ、これに伴って本県統計課にも、移動が発令された。先づ課外との移動については次のとおりである。

・ 転 出 者

旧 所 属 係・職 氏 名	転 出 先 係・職
庶務係長 青 木 正 寿	農林水産部農業改良課庶務第二係長
統計資料係長 川 崎 吉 信	総合開発事務局調査第二係長
経済統計係長 小 野 瀬 二 郎	農林水産部企画課計画指導係長
農林統計係長 川 上 正 之 介	土木部港湾課業務係長
農林統計係 石 井 盛 蔵	県南振興事務所振興課企画調整係長
商工統計係 山 本 光 二	水戸土木事務所主幹
農林統計係 桜 井 力 三	総合開発事務局主事
商工統計係 大 槻 猛	総務部学事文書課主事
商工統計係 足 立 彪	総務部地方課主事
商工統計係 大 越 芳 子	茨城県営印刷所主事
労働統計係 鈴 木 芳 夫	土木部建築課主事

・ 転 入 者

転 入 係・職 氏 名	旧 所 属 係・職
課長補佐兼人口統計係長 大 録 義 行	総務部地方課係長
農林統計係長 小 塚 栄 雄	土木部消防防災課係長
統計資料係長 園 部 義 治	総合開発事務局係長
経済統計係長 横 須 賀 弘	総務部旧文書課係長
農林統計係 川 崎 秋	水戸支庁税務課主事
経済統計係 佐 藤 正 敏	県立友部病院内原分院主事
学事統計係 外 岡 弘 邦	水戸支庁産業課主事
商工統計係 川 上 禎 司	旧水戸地方出納室
庶務係 吉 田 倫 子	民生部世話課主事補

なお課内の異動については、次のとおりである。

新 所 属 係・職 氏 名	旧 所 属 係
庶務係 統計主事 清 水 喜 代 正	経済統計係
統計資料係 統計主事 一 本 杉 清	農林統計係
商工統計係 主 事 高 田 庄 工 門	学事統計係
商工統計係 統計主事 窪 谷 正 之	経済統計係
商工統計係 統計主事 川 崎 和 二	人口統計係
商工統計係 主 事 補 後 藤 み ち 子	庶 務 係
学事統計係 主 事 青 木 き み	農 林 統 計 係
労働統計係 統計主事 高 野 登	経 済 統 計 係
人口統計係 主 事 武 藤 正 弘	商 工 統 計 係
経済統計係 統計主事 宇 留 野 真 一 郎	人 口 統 計 係

経済統計係 統計主事 米 川 実 庶 務 係
 農林統計係 統計主事 岡 崎 昇 学 事 統 計 係
 農林統計係 統計主事 比 奈 若 子 労 働 統 計 係

以上によつて、本県統計課における事務分掌は次のようになった。

事 務 分 担 表

課 長 補 佐 根 本 倉 吉 電話庁内 275
 課長補佐兼人口統計係長 大 録 義 行

係 名	事 務 分 担	主 任		副 主 任	
		職 名	氏 名	職 名	氏 名
庶 務 係 電話 水戸局 5505 および 庁内 276	係事務総括に関する事	係 長	高塚 繁		
	庶務に関する事 予算に関する事 県有財産に関する事 行事予定に関する事 統計関係者の表彰に関する事 統計協会(経理)に関する事 調査統計連絡協議会(経理)に関する事	統計主事	植田 仁	統計主事	井沢 亮 主事補 飛田 和子
	歳入予算の執行に関する事 市町村交付金に関する事 委託費の受入及び精算に関する事 予算に関する調査報告に関する事 自動車に関する事	統計主事	井沢 亮	統計主事	清水喜代正
	歳出予算の執行に関する事 決算に関する事	統計主事	清水喜代正	統計主事	井沢 亮
	給与に関する事 物品購入(常用物品)に関する事 歳入歳出経理簿及び同補助簿の記帳に関する事 旅費に関する事 旅費予算差引簿の記帳に関する事	主事補	大内 春枝	主事補	吉田 倫子
	備品の受払及び同整理簿の記帳に関する事 共済組合及び互助会に関する事 出勤簿及び休暇整理簿に関する事 文書の受付、発送に関する事	主事補	吉田 倫子	主事補	飛田 和子
	消耗品の受払に関する事 統計館使用に関する事 課内の清掃に関する事	主事補	飛田 和子	主事補	大内 春枝
	自動車運転、整備等に関する事 履歴カード及び健康管理カードの整理に関する事 消耗品現在簿の記帳に関する事	技 手	清水 澄男		
	統計館の用務に関する事	用 務 手	福田 磯		
	統計資料係	係事務総括に関する事	係 長	蘭部 義治	
電話 庁内277	統計講習会及び研修会に関する事 統計報告調整に関する事 統計協会(業務)に関する事 「統計だより」の編集に関する事	主 事	打越 幸道	統計主事 主事補	一本杉 清 坏 たみ子

	統計資料の閲覧に関すること 統計図書 of 整理保管に関すること 県民手帳の刊行に関すること 各係との連絡に関すること	統計主事	丹藤 一	統計主事 主事補	生井 一郎 坏 たみ子
	統計資料の解析に関すること 「統計茨城」の編集に関すること 統計広報に関すること	統計主事	一本杉 清	統計主事	丹藤 一
	統計図書 of 受付整理に関すること 「県勢要覧」 of 編集に関すること 統計図書 of 出版物 of 配付に関すること	主 事	野田貴美子	主事補	坏 たみ子
	統計図表に関すること 統計書 of 編集に関すること 調査統計連絡協議会に関すること	統計主事	生井 一郎	主 事	野田貴美子
商工統計係 電話庁内 282	係事務総括に関すること	係 長	江幡 久允		
	工業統計調査に関すること	主 事	高田庄衛門	統計主事 主事補 〃	川崎 和二 川上 禎司 庄司美智子 後藤みち子
	商業統計調査に関すること	統計主事	武田省太郎	統計主事 〃 主事補 〃	窪谷 正之 川崎 正 庄司美智子 後藤みち子
	個人企業経済調査に関すること	統計主事	窪谷 正之	主 事	高田庄衛門
	中小商業基本調査に関すること	統計主事	川崎 和二	統計主事	武田省太郎
	割賦販売調査に関すること 商業動態統計調査に関すること	統計主事	川崎 正	主 事	川上 禎司
	鉱工業生産指数調査に関すること	主 事	川上 禎司	統計主事	川崎 正
学事統計係 電話庁内 279	係事務総括に関すること	係 長	田中 文司		
	学校基本調査 学校調査に関すること 学校通信教育調査に関すること	統計主事	軍司利兵衛	主 事 統計主事	木口 光男 成瀬 陽子
	学校保健統計調査 第一次調査に関すること	主 事	中村宏太郎	統計主事 主 事	青木 きみ 外岡 弘邦
	学校基本調査 学校施設調査に関すること 学校経費調査に関すること	主 事	木口 光男	統計主事 〃	軍司利兵衛 成瀬 陽子
	学校保健統計調査 第二次調査に関すること	統計主事	青木 きみ	主 事 〃	中村宏太郎 外岡 弘邦
	学校基本調査 卒業後の状況調査に関すること 不就学児童生徒調査に関すること	統計主事	成瀬 陽子	統計主事 主 事	軍司利兵衛 木口 光男
	学校保健統計調査 職員保健調査に関すること 保護児童、生徒調査に関すること	主 事	外岡 弘邦	主 事 統計主事	中村宏太郎 青木 きみ
労働統計係 電話庁内 279	係事務総括に関すること	係 長	介川 直喜		
	毎月勤労統計全国調査に関すること 毎月勤労統計地方調査に関すること	統計主事	会沢 精	統計主事 主事補	高野 登 小泉 幸恵
	労働力調査準備調査に関すること	統計主事	高岡 旗男	統計主事 〃	虎口 一郎 高野 登

	労働力本調査に関する事	統計主事	虎口 一郎	統計主事 〃	高岡 旗男 高野 登
	労働力調査標本管理に関する事 就業構造基本調査に関する事	統計主事	高野 登	統計主事 〃	高岡 旗男 虎口 一郎
人口統計係 電話庁内 281	係事務総括に関する事	課長補佐 兼 係長	大録 義行		
	生産動態統計・統計調査員に関する事 雑貨部門生産動態調査に関する事 軽機械器具等需給動態統計調査に関する事	統計主事	田村 裕三	統計主事	入江 英
	国勢調査に関する事 住民登録人口調査に関する事 茨城県住民登録人口調査に関する事 機械部門生産動態調査に関する事	統計主事	中村 健三	主事補 〃	上久保静枝 関 操
	小売物価統計調査に関する事 家計調査に関する事	主 事	武藤 正弘	主事補	関 操
	繊維部門生産動態調査に関する事 繊維流通統計調査に関する事	統計主事	入江 英	統計主事 主事補	田村 裕三 上久保静枝
経済統計係 電話庁内 278	係事務総括に関する事	係 長	横須賀 弘		
	県民所得推計に関する事	統計主事	宇留野真一郎	統計主事 主事補 〃 統計主事 主事補	堀口 弘 利夫 米川 実 佐藤 正敏 岡田紀一郎 西山 さと 今堀 セキ
	法人企業投資実績調査に関する事	統計主事	堀口 弘	主事補 主事補	田口 利夫 今堀 セキ
	事業所統計調査に関する事	主 事	田口 利夫	統計主事 〃 主 事 〃 統計主事 主事補 主 事	宇留野真一郎 堀口 弘 米川 実 佐藤 正敏 岡田紀一郎 西山 さと 今堀 セキ
	消費者動向予測調査に関する事	統計主事	米川 実	主 事 〃 統計主事	佐藤 正敏 岡田紀一郎 西山 さと
	国富調査に関する事	主 事	佐藤 正敏	統計主事 〃 主 事 統計主事 主事補 主 事	宇留野真一郎 堀口 利夫 米川 実 岡田紀一郎 西山 さと 今堀 セキ
	法人企業経済調査に関する事 個人	主 事	岡田紀一郎	統計主事 〃 主事補	堀口 弘 西山 さと 今堀 セキ
農林統計係 電話庁内 280	係事務総括に関する事	係 長	小坪 栄雄		
	農林センサスに関する事	主 事	園部 太郎	主 事 〃 統計主事 〃 主事補 〃	富永 徳有 川崎 昇 岡崎 一郎 亀谷 若子 比奈 好子 外岡 利洋
	農業基本調査に関する事	主 事	富永 徳有	統計主事 〃 主事補	岡崎 昇 比奈 若子 斉田 好子
	主要漁業漁場別調査に関する事	主 事	川崎 秋	統計主事	亀谷 一郎
	農林水産業表式調査に関する事	統計主事	岡崎 昇	主 事 主事補	富永 徳有 外岡 利洋
	農林水産業生産指数作成に関する事	統計主事	亀谷 一郎	主 事	川崎 秋



市町村の家計収支

(ただし参考資料)

まえがき

昭和34年9月から11月までの3カ月間にわたって実施された第1回全国消費実態調査のうち、ここに掲げるのは市町村別の家計収支の統計表である。

この調査は府県別の家計収支の資料を整備するのが一つの目的であつたので、府県別の結果は最小限度の精度を確保できるよう考慮されているが、しかし市町村別にみると、調査世帯数ほどの市町村においてもきわめてわずかで、したがつてこの市町村別の結果を個別に利用することは不可能である。

ただ、これらの市町村を、その地域産業等の特性によつていくつか集めてグループを作り分析するならば、精度の点でも利用の道が開けると考えられる。

つまり、ここに掲載された統計表は、そのまま利用できるという意味でなく、あくまで特性別のグループにまとめる際の素材として利用して頂くために掲載した。その点充分注意して利用願いたい。

(注)

本調査の結果のうち「耐久消費財の所有状況」については、本誌1960.12月号に、「茨城と全国の家計収支」については、1961.1月号に掲載してある。

水戸市現金実収入階級別勤労者世帯1カ月間の収入と支出

(単位 円)

現金実収入階級	平均	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	45,000	50,000	60,000	
		4,999	9,999	14,999	19,999	24,999	29,999	34,999	39,999	44,999	49,999	59,999	69,999
世帯数	39	1	—	4	2	8	5	5	3	4	3	2	2
世帯人員数	462	2.00	—	4.50	5.50	3.75	4.20	5.40	4.00	4.75	4.67	7.00	6.00
有業人員数	151	1.00	—	1.25	3.00	1.00	1.00	1.40	2.00	1.75	2.00	2.00	2.00
世帯主の平均年齢	39.6	38.0	—	40.3	51.5	33.3	38.6	43.0	44.3	37.5	48.0	35.5	36.0
収入総額	48,122	5,912	—	19,649	29,115	35,200	40,610	46,219	52,157	59,115	74,373	79,292	121,819
実収入	31,479	3,880	—	12,436	18,050	22,670	26,866	31,990	39,135	41,832	47,862	53,577	63,419
勤め先収入	28,359	3,880	—	9,989	18,050	21,513	26,239	29,086	31,778	34,632	43,667	47,710	58,519
世帯主収入	24,859	3,880	—	8,193	17,717	21,513	26,239	28,420	21,466	27,215	32,786	34,344	55,852
(定期)	23,619	3,880	—	8,193	17,217	21,373	25,543	28,149	20,912	26,349	32,786	28,797	43,256
(臨時)	1,214	—	—	—	500	140	492	270	553	866	—	5,548	12,596
妻の収入	539	—	—	250	—	—	—	—	4,003	1,333	—	—	—
その他の世帯員収入	2,961	—	—	1,546	333	—	—	667	10,312	3,413	9,548	13,366	2,667
事業、内職収入	603	—	—	964	—	457	187	1,557	2,431	—	—	—	—
その他の実収入	2,517	—	—	1,483	—	700	440	1,347	4,925	7,200	4,194	5,867	4,900
(財産収入)	678	—	—	—	—	129	—	—	800	3,337	1,583	2,000	450
(社会保障給付)	863	—	—	342	—	—	—	814	4,125	3,213	1,000	—	—
実収入以外の収入	6,632	—	—	2,250	167	3,177	1,414	5,073	4,507	4,188	14,003	10,177	49,414
(貯金引出)	4,358	—	—	1,042	167	953	400	3,373	3,778	1,875	778	9,667	49,233
(保険取金)	193	—	—	—	—	—	—	—	235	1,706	—	—	—
前月からの繰入金	10,011	2,032	—	4,964	10,898	9,353	12,329	9,156	8,515	13,095	12,508	15,538	8,986
支出総額	48,122	5,912	—	19,649	29,115	35,200	40,610	46,219	52,157	59,115	74,373	79,292	121,812
実支出	27,236	4,205	—	12,619	15,515	21,842	19,292	30,695	28,193	35,003	43,904	44,475	53,299
消費支出	25,056	4,205	—	12,212	15,515	20,726	17,828	27,814	25,978	31,747	39,823	39,586	47,752
食料費	9,983	1,604	—	6,297	10,018	7,965	8,865	12,901	9,420	9,258	11,404	16,701	18,536
穀類	2,975	445	—	2,368	3,509	2,134	2,763	4,242	2,601	2,268	2,639	5,824	5,282

(続)

現金実収入階級	平均	{ 4,999	5,000 { 9,999	10,000 { 14,999	15,000 { 19,999	20,000 { 24,999	25,000 { 29,999	30,000 { 34,999	35,000 { 39,000	40,000 { 44,999	45,000 { 49,999	50,000 { 59,999	60,000 { 69,999
副食品	4,796	650	—	2,573	5,456	4,214	4,125	5,520	5,463	4,297	5,673	7,369	8,958
し好食品	1,665	267	—	1,055	745	1,306	1,791	2,205	1,145	1,771	2,257	2,317	3,295
外食費	548	242	—	302	308	312	186	934	211	922	835	1,191	1,003
住居費	2,172	1,417	—	435	1,576	3,123	1,085	1,160	2,084	2,798	3,117	4,050	3,642
(家賃地代)	794	1,333	—	—	1,500	1,388	320	447	870	642	839	2,000	—
(設備・修繕費)	464	—	—	25	53	394	240	77	32	1,453	1,022	151	1,942
(家具什器)	775	3	—	364	6	1,166	351	540	1,128	520	1,120	1,588	1,490
光熱費	1,041	227	—	320	735	899	1,112	1,126	977	1,286	1,257	1,932	1,772
被服費	2,945	355	—	1,179	818	1,527	2,257	4,102	3,925	2,853	5,624	4,608	7,441
雑費	8,914	603	—	3,982	2,368	7,213	4,510	8,526	9,571	15,553	18,421	12,295	16,361
(保健医療費)	690	—	—	210	183	778	244	655	897	1,450	521	790	1,686
(理容衛生費)	696	441	—	595	128	663	479	656	519	769	1,179	1,248	1,212
(交通通信費)	626	—	—	490	11	330	198	319	425	544	2,790	1,264	1,437
(教育費)	1,059	73	—	1,250	438	528	574	649	193	1,021	4,753	1,558	1,488
(教養娯楽費)	1,631	45	—	526	635	1,474	706	1,659	1,205	1,671	4,794	2,918	3,029
(交際費)	455	—	—	235	13	566	247	344	572	1,079	141	458	951
非消費支出	2,181	—	—	407	—	1,115	1,464	2,881	2,215	3,257	4,081	4,889	5,540
(勤労所得税)	418	—	—	—	—	20	51	236	116	635	1,230	1,535	2,527
(その他の税)	437	—	—	13	—	196	230	627	438	788	873	505	1,527
実支出以外の支出	9,640	—	—	876	54	3,794	4,592	7,284	12,342	9,747	17,534	17,724	59,267
(貯金)	3,242	—	—	83	54	1,349	2,398	1,508	8,089	3,616	3,956	12,592	9,943
(保険掛金)	1,084	—	—	233	—	687	559	1,249	348	1,680	2,504	3,715	2,044
(住宅購入払)	207	—	—	—	—	—	200	—	1,369	115	836	—	—
翌月への繰越金	11,245	1,707	—	6,155	13,545	9,564	16,726	8,239	11,622	14,364	12,934	17,094	9,260
現金収入(支出)	296	—	—	238	—	407	147	376	19	577	455	97	397

勤 勞 者 世 帯 1 カ 月

項 目	平均	市部	郡部	水戸市	日立市	土浦市	古河市	石岡市	下館市	結城市	竜ヶ崎市
世 帯 数	382	238	144	39	54	28	16	8	11	3	4
世 帯 人 員 数	4.29	4.43	4.06	4.62	4.56	3.89	3.94	4.38	5.18	5.33	4.03
有 業 人 員 数	1.38	1.47	1.22	1.51	1.44	1.46	1.63	1.38	1.55	1.33	1.50
世帯主の平均年齢	39.2	39.8	38.1	39.6	39.4	38.8	36.1	43.3	43.6	45.3	40.0
収 入 総 額	37,450	41,842	30,192	48,122	42,212	44,626	40,241	40,320	41,046	25,584	25,287
実 収 入	24,796	27,117	20,959	31,479	26,565	27,366	26,006	27,607	27,360	18,768	17,218
勤 め 先 収 入	23,056	25,107	19,667	28,359	25,697	24,826	24,019	25,429	23,477	17,434	13,568
世 帯 主 収 入	20,832	22,307	18,394	24,859	23,613	22,243	20,385	22,514	19,473	17,434	11,030
定 期	20,356	21,738	18,072	23,619	22,863	21,510	20,338	21,648	19,467	17,294	11,030
臨 時	370	550	72	1,214	686	733	47	867	6	140	—
副 業	106	19	250	26	65	—	—	—	—	—	—
妻 の 収 入	877	854	915	539	725	1,423	253	—	—	—	1,787
その他の世帯員 収 入	1,348	1,947	358	2,961	1,359	1,160	3,381	2,915	4,004	—	750
事 業 内 職 収 入	551	572	516	603	413	963	939	1,387	813	178	627
その他の実 収 入	1,189	1,438	777	2,517	455	1,577	1,048	792	3,070	1,156	3,024
財 産 収 入	190	298	12	678	79	201	384	—	91	144	—
恩 給	57	58	56	—	—	—	—	—	1,253	—	—
社 会 保 障 給 付	236	240	230	863	53	124	149	—	121	—	369
受 贈	104	157	16	321	114	51	181	—	170	44	596
仕 送 り 金	213	303	65	26	113	827	202	—	91	778	1,475
そ の 他	389	382	399	629	96	374	131	792	1,345	190	583
実 収 入 以 外 の 収 入	4,052	4,995	2,493	6,632	4,669	6,261	3,608	3,329	5,497	1,221	2,417
貯 金 引 出	2,235	2,731	1,416	4,358	2,217	4,540	1,695	3,167	1,333	333	2,333
保 険 取 金	56	90	—	193	236	—	—	—	—	—	—
借 入 金	354	420	246	821	108	940	406	—	303	333	83
月 賦	321	491	39	274	1,040	105	—	163	306	—	—
掛 買	958	1,095	731	860	997	503	1,503	—	2,700	269	—
そ の 他	128	169	61	126	71	173	4	—	855	286	—
前 月 か ら の 繰 入 金	8,602	9,730	6,739	10,011	10,979	10,998	10,628	9,384	8,189	5,594	5,652
現 物 収 入	452	558	278	296	480	318	207	309	908	136	17
現 物 給 与	263	345	128	38	312	246	144	—	273	—	—
自 家 産	189	213	150	258	168	72	63	309	635	136	17
可 処 分 所 得	23,371	25,443	19,945	29,298	25,077	25,797	24,335	26,222	25,984	17,581	16,854
黒 字 (一 赤 字)	2,387	2,766	1,759	4,243	2,823	538	2,481	5,687	2,035	1,645	— 381
貯 蓄 純 増	729	635	885	— 225	700	— 1,436	509	3,058	2,367	958	— 1,178

間の収入と支出

(単位 円)

那珂湊市	下妻市	水海道市	常陸太田市	勝田市	高萩市	北茨城	笠間市	那珂町	大宮町	大子町	牛久町	大野村	縹和村
9	2	5	6	12	12	24	5	7	2	7	9	3	5
4.44	4.00	5.80	5.33	3.67	3.67	4.67	4.40	3.86	2.50	4.43	4.89	3.00	3.75
2.00	2.00	1.40	1.33	1.17	1.42	1.38	1.60	1.14	1.50	1.43	1.22	1.33	1.00
39.2	40.5	43.8	39.2	38.1	44.1	40.2	36.6	38.3	41.5	38.6	39.0	37.7	35.9
24,844	48,115	41,749	50,186	50,485	46,594	30,881	44,228	31,421	30,756	30,404	29,030	30,653	29,923
15,619	34,177	31,002	32,868	33,231	28,675	21,059	30,580	21,729	22,493	21,457	21,692	19,633	19,140
14,457	33,844	29,121	30,657	31,220	25,886	20,163	27,546	19,647	21,967	20,231	21,031	14,833	18,893
11,500	28,096	28,588	26,816	29,787	21,651	17,538	23,051	19,647	15,744	18,831	18,410	14,833	18,893
11,500	27,762	28,416	26,816	28,933	21,524	17,360	23,011	19,616	15,744	18,831	17,402	14,833	18,607
—	333	172	—	854	127	178	40	30	—	—	8	—	286
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,000	—	—
2,532	5,748	—	2,230	1,433	2,169	—	4,029	—	6,223	236	2,095	—	—
424	—	533	1,611	—	2,065	2,625	467	—	—	1,164	526	—	—
517	—	1,001	—	204	492	298	—	—	—	462	393	3,278	247
646	333	880	2,211	1,807	2,298	598	3,034	2,082	526	764	269	1,522	—
451	—	167	285	1,004	693	—	—	—	—	—	—	142	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	222	—	—
—	—	105	—	416	—	271	—	705	—	476	—	—	—
37	—	540	237	283	97	35	20	—	—	33	37	—	—
—	—	—	—	—	1,056	278	2,000	—	—	—	—	778	—
158	333	68	1,689	104	452	15	1,014	1,377	526	255	9	603	—
5,132	3,164	2,643	3,188	6,688	4,123	4,588	3,979	1,595	1,188	2,770	1,597	6,831	2,744
4,094	1,000	1,167	2,622	2,596	2,221	1,438	600	927	1,188	1,395	1,148	6,333	375
—	—	—	—	—	—	47	—	—	—	—	—	—	—
207	—	—	—	83	—	685	1,040	—	—	405	—	444	584
—	—	—	—	1,973	1,434	63	—	90	—	—	—	—	98
788	2,164	1,143	492	2,031	358	2,204	573	578	—	943	226	53	1,687
42	—	333	74	5	110	150	1,767	—	—	27	223	—	—
4,093	10,774	8,104	14,130	10,565	13,795	5,234	9,668	8,098	7,075	6,178	5,740	4,189	8,039
18	—	259	7	172	747	2,289	524	338	—	168	492	181	187
—	—	—	7	—	221	2,022	60	86	—	100	256	167	63
18	—	259	—	172	526	267	464	252	—	68	237	14	124
15,267	30,378	28,860	30,851	30,521	26,888	20,074	26,590	20,358	21,271	20,330	20,865	18,787	18,315
— 766	4,055	5,835	1,963	3,046	4,964	1,934	5,909	984	3,678	1,033	2,301	— 685	2,903
— 2,103	1,033	3,986	1,358	2,631	1,725	403	6,449	1,028	4,435	1,235	415	— 2,011	1,181

全 世 帯 1 カ 月 間

項 目	平均	市 部	郡 部	水戸市	日立市	土浦市	古河市	石岡市	下館市	結城市	竜ヶ崎市
世 帯 数	676	420	256	77	82	47	27	18	22	10	10
世 帯 人 員 数	4.57	4.66	4.41	4.83	4.70	4.28	4.33	4.56	4.77	5.00	4.10
有 業 人 員 数	1.66	1.70	1.59	1.69	1.73	1.74	1.67	1.67	1.59	1.80	1.60
実 収 入 総 額	27,160	28,977	24,181	35,040	29,062	28,335	24,226	33,299	23,771	20,535	21,496
消 費 支 出 総 額	21,800	23,625	18,805	26,048	24,054	25,747	20,749	26,385	21,039	18,793	20,311
食 料 費	9,853	10,428	8,911	11,292	11,172	9,797	9,651	10,951	8,974	7,993	10,503
穀 類	3,329	3,454	3,123	3,461	3,571	3,145	3,461	3,320	3,448	3,137	3,789
米 類	2,752	2,819	2,641	2,789	2,846	2,642	2,907	2,803	2,761	2,559	3,317
麦・雑穀類	189	217	143	210	255	133	100	186	334	253	34
パン類	186	199	166	279	171	229	185	134	137	100	241
その他	201	219	173	184	299	142	269	197	216	226	198
その他の食料費	6,525	6,974	5,788	7,831	7,601	6,652	6,189	7,631	5,527	4,856	6,714
生鮮魚介類	664	689	571	798	737	690	480	902	462	397	761
塩干魚介類	261	270	245	343	287	284	196	224	239	224	331
肉 類	339	402	289	480	400	403	389	439	206	215	440
乳 卵 類	653	683	603	927	647	614	686	581	499	557	730
野 菜 類	627	707	496	706	830	680	676	706	743	519	626
乾物・海草類	153	169	126	183	175	148	126	151	149	66	189
加工食品	765	806	697	862	835	843	772	790	624	667	990
調味料	873	926	786	919	991	873	944	968	956	936	819
菓子類	620	658	558	697	767	588	516	660	503	330	606
果物類	459	481	423	482	577	477	430	469	247	288	484
酒 類	507	533	465	670	648	330	233	1,078	356	195	415
飲料	161	170	146	192	186	143	185	82	141	133	136
外 食 費	443	480	383	572	521	580	556	581	403	329	187
住 居 費	1,619	2,029	946	2,085	1,886	3,916	1,319	1,570	1,334	1,156	1,436
家賃地代	294	392	135	513	333	513	668	128	167	339	380
設備修繕費	504	681	213	684	573	2,208	304	449	575	380	550
水道料	42	48	31	147	48	10	—	—	—	—	—
家具什器	778	907	566	741	932	1,184	348	993	592	438	506
光 熱 費	1,031	1,042	1,011	1,198	924	1,067	1,282	1,088	992	1,150	946

の 収 入 と 支 出

(単位 円)

那珂湊市	下妻市	水海道市	常陸太田市	勝田市	高萩市	北茨城市	笠間市	那珂町	大宮町	大子町	牛久町	大野村	総和村
18	12	12	11	18	18	28	10	12	12	10	11	7	12
4,78	5,50	5,00	5,45	3,78	4,78	4,54	5,40	4,08	5,42	4,40	4,82	3,43	3,92
2,00	2,25	1,58	2,55	1,11	1,83	1,21	2,00	1,67	2,75	1,40	1,18	1,71	0,83
19,726	28,696	25,334	40,928	29,543	38,978	19,736	32,090	25,342	35,066	23,320	21,385	15,939	20,224
17,018	24,704	18,568	34,988	25,294	25,108	17,796	22,930	18,815	24,022	18,574	17,929	15,828	16,310
8,351	11,778	10,247	14,125	8,844	10,844	9,381	10,671	8,229	12,029	9,466	8,792	6,365	7,604
3,486	4,357	3,885	3,945	2,239	3,019	3,787	3,944	2,644	4,084	2,949	3,461	2,512	2,831
2,789	3,781	3,398	3,142	1,772	2,422	3,021	3,240	2,205	3,445	2,407	2,906	2,296	2,427
398	214	35	186	118	185	361	389	133	195	164	158	86	102
90	168	208	415	189	160	178	147	159	261	197	162	50	123
209	194	244	203	161	252	228	168	147	183	182	234	80	178
4,865	7,421	6,362	10,180	6,604	7,825	5,594	6,727	5,586	7,945	6,517	5,330	3,853	4,773
371	512	809	902	775	793	618	610	547	872	547	553	495	375
142	276	287	341	270	212	198	281	303	347	247	207	134	185
238	491	411	482	454	536	260	517	309	463	312	214	92	259
455	758	547	1,138	657	723	461	675	464	589	589	789	451	686
613	796	623	754	538	746	630	675	421	867	619	335	253	389
157	179	154	283	180	211	176	165	90	182	107	117	189	93
548	937	818	888	755	911	683	902	714	868	494	874	471	647
839	1,119	930	963	707	935	845	1,090	856	1,053	674	578	761	747
384	828	621	1,223	709	750	537	688	605	856	589	401	241	516
307	470	453	824	538	678	335	497	545	625	389	272	317	328
405	532	236	987	419	460	653	265	120	923	518	535	294	342
98	81	213	401	166	284	103	154	241	117	197	108	53	125
307	441	260	994	434	586	94	208	370	184	1,235	346	103	83
917	1,545	724	2,945	4,709	2,173	778	1,183	830	1,524	831	929	1,202	444
567	83	194	444	679	320	130	231	342	178	41	130	—	44
66	968	283	669	135	586	69	597	77	280	269	327	143	175
—	—	—	181	126	—	11	—	—	—	201	—	—	—
284	494	247	1,651	3,769	1,266	567	355	412	1,066	320	472	1,059	225
787	1,463	989	1,453	1,176	1,143	302	1,285	1,195	1,193	904	757	546	1,240

(続)

項 目	平均	市部	郡部	水戸市	日立市	土浦市	古河市	石岡市	下館市	結城市	竜ヶ崎市
電気・ガス代	356	378	320	523	329	420	359	361	315	278	387
その他	675	664	691	675	595	647	923	727	677	872	560
被服費	2,555	2,691	2,332	2,628	3,296	2,726	2,303	2,468	2,012	2,605	1,811
衣料費	1,932	1,975	1,861	1,767	2,577	1,918	1,679	1,813	1,485	2,009	1,255
その他	623	716	470	861	720	807	625	655	528	597	556
雑費	6,742	7,435	5,606	8,845	6,776	8,241	6,193	10,307	7,727	5,888	5,615
保健医療費	493	543	410	616	528	704	552	540	442	275	400
理容衛生費	556	598	486	626	650	638	560	499	426	565	661
交通通信費	569	551	598	596	407	844	316	905	693	222	616
教育費	483	554	366	900	428	593	279	484	446	446	309
文房具費	115	98	144	108	90	98	118	99	111	97	59
教養娯楽費	1,307	1,443	1,082	1,608	1,418	1,560	1,300	1,324	1,259	1,015	1,076
たばこ	508	501	520	456	559	440	467	1,019	437	517	151
仕送り金	230	304	109	664	185	4	—	759	545	33	—
その他	1,979	2,280	1,485	2,645	1,876	2,736	1,993	4,092	2,357	2,191	1,811
交際費	503	562	405	626	635	625	609	586	1,010	528	532
非消費支出	1,042	1,108	934	1,197	1,099	1,163	1,050	777	749	477	572
勤労所得税	135	193	39	215	226	232	261	106	187	—	1
その他の税	196	246	116	264	199	245	192	193	125	106	282
社会保障費	512	570	417	603	612	583	552	394	386	329	289
その他	199	99	364	115	62	104	44	84	50	42	—
実支出以外の支出	4,028	4,935	2,541	6,466	4,951	4,803	3,002	5,390	4,464	1,330	1,693
貯金	1,478	1,781	980	1,759	1,882	1,662	751	2,888	1,502	562	766
保険掛金	725	874	482	1,155	855	852	776	922	712	261	225
借金返済	282	335	196	430	273	685	280	302	81	110	—
月賦払	554	687	335	793	934	585	304	969	438	143	235
掛買払	684	843	422	767	872	593	877	305	1,548	254	267
住宅購入払	52	72	19	121	54	67	—	—	17	—	200
その他	254	344	106	1,441	81	359	14	3	167	—	—
現物支出	363	409	288	190	333	236	123	642	454	269	7
食料品	204	203	206	170	128	89	38	459	318	269	7

(続)

那珂湊市	下妻市	水海道市	常陸 太田市	勝田市	高萩市	北茨城市	笠間市	那珂町	大宮町	大子町	牛久町	大野村	総和村
284	491	391	494	478	418	66	287	366	381	344	303	188	287
503	972	597	959	698	726	236	998	829	813	560	453	358	953
1,676	2,584	2,263	4,440	2,755	2,988	2,215	3,180	2,034	3,170	2,118	1,845	3,252	1,878
1,103	1,816	1,723	3,261	2,075	2,308	1,662	2,491	1,574	2,586	1,571	1,447	2,757	1,524
573	769	540	1,179	680	680	553	689	460	584	547	398	495	355
5,286	7,334	4,345	12,026	7,809	7,960	5,121	6,612	6,527	6,106	5,255	5,606	4,463	5,143
523	524	333	899	601	382	406	430	570	359	232	436	541	352
492	556	423	875	557	669	576	542	341	508	564	583	354	535
482	267	138	1,035	567	896	370	244	699	594	194	440	360	1,123
604	564	426	1,014	372	624	338	562	305	679	306	494	152	173
106	93	45	184	82	87	85	96	258	142	184	97	176	23
979	1,518	1,048	2,343	1,777	2,116	1,053	1,159	1,628	1,458	994	954	685	582
571	433	301	279	493	472	524	752	254	710	658	584	495	435
—	664	—	818	833	—	121	—	580	—	—	—	—	—
1,268	1,910	1,406	4,195	2,123	2,343	1,436	2,294	1,670	1,151	1,019	1,912	1,391	1,686
261	805	227	383	405	371	213	532	222	504	1,106	108	310	235
223	973	979	1,481	1,857	2,055	864	2,075	1,007	313	921	760	396	1,969
—	161	49	108	384	309	45	460	11	29	69	87	20	18
69	311	269	372	398	791	103	309	109	94	203	121	40	109
108	397	571	862	994	785	664	510	596	151	648	434	323	348
46	104	90	138	80	171	51	796	289	39	2	117	13	1,494
2,381	4,595	4,013	6,780	7,089	3,965	5,516	6,229	2,148	1,866	3,307	2,047	3,009	3,150
1,618	782	1,737	3,893	3,093	1,754	1,489	3,023	927	981	1,477	560	1,609	637
176	1,455	925	1,243	1,227	1,066	311	1,449	276	382	638	829	277	459
66	14	297	—	113	—	824	694	590	91	258	76	—	83
65	811	388	1,213	1,309	739	519	397	148	401	439	218	—	673
433	1,339	606	430	954	335	2,195	666	207	—	495	364	—	1,278
—	194	60	—	392	52	—	—	—	—	—	—	171	—
24	—	—	—	1	19	177	—	—	11	—	—	952	—
88	104	159	138	122	902	2,068	871	668	20	117	584	83	164
88	104	137	134	122	693	337	841	613	20	47	324	12	123

勤 労 者 世 帯 1 カ 月

項 目	平均	市 部	郡 部	水戸市	日立市	土浦市	古河市	石岡市	下館市	結城市	竜ヶ崎市
支 出 総 額	37,450	41,842	30,192	48,122	42,212	44,626	40,241	40,320	41,046	25,584	25,287
実 支 出	22,409	24,351	19,200	27,236	23,742	26,828	23,525	21,920	25,325	17,123	17,599
消 費 支 出	20,984	22,677	18,185	25,056	22,254	25,259	21,854	20,536	23,949	15,936	17,235
食 料 費	9,099	9,603	8,266	9,983	10,052	9,134	9,424	9,164	9,672	9,037	7,311
穀 類	3,099	3,191	2,947	2,975	3,424	2,746	3,111	3,109	3,412	4,487	2,761
米 類	2,551	2,602	2,466	2,412	2,755	2,331	2,560	2,792	2,722	3,729	2,227
麦・雑穀類	176	188	155	151	215	74	110	54	294	350	24
パン類	170	187	141	256	176	215	188	78	158	101	292
その他	203	214	184	156	278	126	253	184	237	307	217
その他の食料費	6,000	6,412	5,320	7,008	6,627	6,388	6,312	6,055	6,261	4,550	4,550
生鮮魚介類	550	610	451	704	600	624	525	814	554	382	338
塩干魚介類	238	260	202	288	273	262	220	238	316	239	271
肉 類	313	360	234	446	322	395	351	342	273	76	352
乳 卵 類	662	679	632	965	632	648	657	615	559	233	618
野 菜 類	555	617	453	609	681	596	594	674	731	694	391
乾物・海藻類	142	157	116	161	164	145	127	96	184	92	42
加工食品	717	765	637	762	753	795	777	677	701	814	859
調 味 料	784	835	700	861	830	789	953	845	983	884	509
菓 子 類	568	619	483	619	677	557	565	593	531	301	460
果 物 類	424	450	380	447	514	434	479	413	297	244	329
酒 類	390	398	376	429	483	290	213	393	399	71	164
飲 料	137	151	113	170	168	122	172	114	165	75	67
外 食 費	521	508	542	548	528	732	680	242	568	444	151
住 居 費	1,743	2,134	1,095	2,172	1,796	4,870	1,547	827	2,070	682	1,225
家賃地代	400	499	235	794	433	698	742	288	209	200	—
設備・修繕費	477	629	226	464	233	2,893	408	208	972	154	527
水道料	48	48	47	138	40	17	—	—	—	—	—
家具・什器	818	958	587	775	1,089	1,262	397	331	889	327	698
光 熱 費	832	839	821	1,041	747	879	1,054	967	968	961	915
電気・ガス代	277	292	253	441	271	294	281	240	257	282	337
そ の 他	555	547	568	600	476	585	773	727	711	679	578

間の収入と支出 (続)

(単位 円)

那珂湊市	下妻市	水海道市	常陸 太田市	勝田市	高萩市	北茨城市	笠間市	那珂町	大宮町	大子町	牛久町	大野村	総和村
24,844	48,115	41,749	50,186	50,485	46,594	30,881	44,228	31,421	30,756	30,404	29,030	30,653	29,923
16,385	30,122	25,167	30,905	30,185	23,711	19,125	24,671	20,745	18,815	20,424	19,391	20,318	16,237
16,034	26,323	23,024	28,888	27,475	21,924	18,140	20,680	19,373	17,593	19,298	18,564	19,472	15,412
7,834	10,771	11,181	11,365	9,180	8,485	9,618	10,367	7,308	7,803	9,306	9,125	7,102	7,781
3,181	2,639	4,027	3,459	2,383	2,270	3,926	4,026	2,478	3,032	2,824	3,824	2,157	2,752
2,538	2,295	3,506	2,831	1,863	1,753	3,136	3,454	2,107	2,692	2,273	3,222	1,905	2,252
360	118	38	203	107	145	383	293	151	28	163	193	122	153
52	72	172	223	225	146	191	79	98	60	246	151	27	139
232	154	311	201	187	226	216	200	121	253	142	257	103	207
4,653	8,133	7,154	7,906	6,797	6,214	5,692	6,341	4,831	4,772	6,482	5,301	4,945	5,029
362	550	872	749	665	494	616	507	316	670	420	526	619	396
133	213	361	321	303	205	219	224	167	334	225	189	185	198
226	561	576	506	479	302	274	372	287	343	207	228	198	205
441	1,171	766	1,049	628	564	458	1,060	403	396	588	795	674	732
539	485	602	779	482	495	635	536	395	889	637	331	329	417
158	92	182	244	191	162	170	142	71	116	89	109	296	120
518	1,071	926	833	829	810	737	846	593	452	508	790	647	661
716	780	893	838	771	675	864	1,042	808	663	650	606	761	743
407	676	579	933	779	825	543	568	464	287	609	392	331	599
319	431	548	386	613	537	332	602	544	320	432	246	411	345
400	701	325	394	337	254	647	103	164	40	429	585	225	418
101	76	138	206	166	243	100	104	172	33	144	104	63	86
333	1,326	386	668	556	648	98	235	447	230	1,546	399	207	110
1,057	1,581	1,200	1,788	4,379	2,085	747	804	1,145	2,732	1,048	953	2,064	479
744	—	200	814	785	186	68	393	586	1,000	59	159	—	67
43	1,225	613	282	176	338	58	258	117	61	370	379	17	144
—	—	—	236	149	—	12	—	—	—	240	—	—	—
270	356	387	446	3,269	1,561	610	153	442	1,671	380	415	2,047	269
528	723	882	1,314	1,171	787	230	960	1,043	622	719	799	382	955
279	245	424	371	367	308	53	229	345	392	183	273	141	218
249	478	458	943	805	479	176	731	698	230	536	526	242	738

(続)

項 目	平均	市 部	郡 部	水戸市	日立市	土浦市	古河市	石岡市	下館市	結城市	竜ヶ崎市
被 服 費	2,449	2,614	2,175	2,945	2,901	2,360	2,447	1,818	2,321	651	2,155
衣 料 費	1,824	1,891	1,714	2,065	2,200	1,564	1,760	1,141	1,677	400	1,488
そ の 他	624	723	461	880	701	796	687	676	644	251	667
雑 費	6,861	7,487	5,828	8,914	6,758	8,016	7,382	7,760	8,917	4,606	5,629
保健医療費	484	570	343	690	566	881	448	307	595	151	368
理容衛生費	562	592	512	696	619	557	538	433	496	444	364
交通通信費	578	567	595	626	354	960	404	830	863	402	441
教 育 費	454	533	323	1,059	366	397	417	400	500	459	276
文房具費	107	100	117	115	90	92	130	63	142	168	100
教養娯楽費	1,361	1,511	1,114	1,631	1,580	1,432	1,622	1,381	1,448	1,177	976
たばこ	427	399	474	287	456	349	478	502	323	442	68
仕送り金	208	217	193	—	198	—	—	—	1,091	111	—
そ の 他	2,229	2,555	1,690	3,354	2,000	2,943	2,513	3,364	3,014	984	2,602
交 際 費	452	441	469	455	529	404	832	481	445	268	433
非 消 費 支 出	1,425	1,674	1,014	2,181	1,488	1,569	1,671	1,385	1,376	1,187	364
労働所得税	220	312	69	418	312	312	441	239	374	—	—
その他の税	234	296	131	437	248	314	264	208	215	184	—
社会保障費	840	925	700	1,136	856	832	894	754	688	890	364
そ の 他	131	140	115	190	72	111	73	184	100	113	—
実支出以外の支出	5,603	6,582	3,984	9,640	5,989	5,845	4,478	7,595	7,557	2,879	2,259
貯 金	2,200	2,552	1,619	3,242	2,320	2,172	1,206	4,886	2,652	422	2,022
保険掛金	820	904	682	1,084	833	932	998	1,339	1,048	869	353
借金返済	464	683	349	845	387	883	473	188	152	366	—
月 賦 払	721	888	445	998	1,193	676	377	1,073	725	478	438
掛 買 払	908	1,054	667	782	1,066	467	1,401	102	2,645	744	667
住宅購入払	83	114	33	207	82	112	—	—	33	—	—
そ の 他	406	538	189	2,482	108	602	23	7	303	—	—
翌月への繰越金	9,439	10,909	7,008	11,245	12,482	11,953	12,238	10,805	8,165	5,582	5,428
現 物 支 出	452	558	278	296	480	318	207	309	909	136	17
食 料 品	180	209	132	258	168	72	63	213	635	26	17

(続)

那珂湊市	下妻市	水海道市	常陸 太田市	勝田市	高萩市	北茨城市	笠間市	那珂町	大宮町	大子町	牛久町	大塚村	総和村
1,393	3,995	2,663	3,631	2,979	3,404	2,195	1,979	2,267	864	2,322	1,802	5,074	1,637
860	2,858	1,731	2,734	2,076	2,808	1,668	1,380	1,646	546	1,800	1,420	4,550	1,258
533	1,137	932	897	903	596	528	599	622	318	522	382	497	379
5,221	9,254	7,098	1,080	9,765	7,163	5,349	6,570	7,609	5,572	5,903	5,885	4,877	4,559
589	191	507	520	727	376	367	412	364	128	274	409	366	354
435	792	525	772	696	620	566	456	410	273	638	536	555	506
421	298	248	448	748	908	374	376	820	636	201	499	505	873
480	452	712	538	487	525	381	686	478	—	370	574	18	59
90	108	69	168	91	81	87	85	140	27	193	114	200	24
762	2,889	1,539	1,959	2,121	1,574	1,122	1,382	1,812	1,384	1,126	1,000	786	675
426	548	330	209	401	408	467	749	231	992	664	517	314	402
—	667	—	1,500	1,250	—	141	—	995	—	—	—	—	—
1,771	2,306	2,731	4,395	2,832	2,393	1,628	2,185	2,143	1,726	1,043	2,112	1,542	1,430
246	1,003	437	291	412	278	216	238	217	407	1,394	125	590	236
352	3,799	2,142	2,017	2,710	1,787	985	3,990	1,371	1,222	1,127	827	846	825
—	657	117	198	577	284	53	920	20	173	98	106	47	27
101	1,275	568	207	524	243	118	585	155	83	180	94	92	133
158	1,867	1,269	1,435	1,491	1,096	764	980	928	864	847	531	696	522
93	—	188	177	118	163	50	1,506	269	102	2	96	11	143
3,324	6,183	8,196	5,988	8,389	5,556	5,897	10,249	3,360	6,289	4,103	2,367	6,944	4,558
1,791	1,683	3,365	2,832	4,511	2,563	1,579	5,333	1,482	4,606	2,101	581	3,676	955
200	350	1,788	1,148	716	1,383	309	1,716	473	977	529	982	646	601
132	85	713	—	169	—	940	1,388	1,011	543	368	93	—	125
119	1,333	731	1,431	1,406	1,088	606	593	168	57	610	267	—	1,010
34	1,565	1,455	578	996	415	2,300	1,219	226	—	495	445	—	1,868
—	1,167	144	—	588	78	—	—	—	—	—	—	400	—
48	—	—	—	2	28	164	—	—	67	—	—	2,222	—
5,135	11,810	8,386	13,293	11,910	17,327	5,860	9,308	7,316	5,652	5,877	7,271	3,390	9,127
18	—	259	7	172	747	2,289	524	338	—	168	492	181	187
18	—	206	—	172	526	277	464	242	—	68	174	14	124